

Ⅷ 文化財保護

1. 有形文化財

(1) 建造物

①重文 新垣家住宅主屋ほか6棟 建造物保存修理 事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 新垣和子ほか9名
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 平成21年度の登り窯解体格納調査事業を引き続き、平成22年度から保存修理事業に着手している。主屋や作業場、離れ等の保存修理を行った。
 事業費総額 : 90,000千円

	平成24年度	平成22年度～平成24年度
市補助額	6,750千円	16,403千円
県補助額	6,750千円	16,402千円
国庫補助額	76,500千円	185,895千円
合計	90,000千円	218,700千円

②重文 津嘉山酒造所施設主屋及び麴屋 建造物保存修理 事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 合資会社 津嘉山酒造所
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 平成23年に継続して、経年と蟻害による木部の腐朽が著しい麴屋を主屋兼工場に先行して保存修理を行った。
 事業費総額 : 28,000千円

	平成24年度	平成23年度～平成24年度
所有者負担	1,400千円	2,600千円
市補助額	1,400千円	2,600千円
県補助額	2,800千円	5,200千円
国庫補助額	22,400千円	41,600千円
合計	28,000千円	52,000千円

③重文 新垣家住宅 建造物環境保全 事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 新垣和子ほか5名
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 重要文化財の北側擁壁にき損が発見され保全工事を行った。
 事業費総額 : 13,167千円

	平成24年度
市補助額	1,193千円
県補助額	783千円
国庫補助額	11,191千円
合計	13,167千円

④重文 銘苅家住宅主屋ほか1棟 緊急防災施設耐震改修 事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 伊是名村
 事業の目的 : 重要文化財防災施設の適正な保存を図る。
 事業内容 : 経年による老朽化の著しい防災施設の改修を行った。
 事業費総額 : 15,014千円

	平成24年度
村負担額	2,418千円
県補助額	585千円
国庫補助額	12,011千円
合計	15,014千円

⑤県指定有形文化財（建造物）「旧首里城守礼門」保存修理事業

事業種別：県単独事業
 事業主体：沖縄県
 事業の目的：県指定文化財の適正な保存を図る。
 事業内容：経年と蟻害により被害を受けた屋根漆喰の塗り替え及び屋根瓦と木材の修理及び経年により腐朽した控柱及び貫の取り替え及び塗装補修を行った。
 事業費総額：21,219千円

	平成24年度
県負担額	21,219千円

⑥重伝建 竹富町竹富島重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

事業種別：国庫補助事業
 事業主体：竹富町
 事業の目的：伝統的建造物群の適正な保存を図る。
 事業内容：下記保存物件の保存修理事業
 西塘御獄拝殿の屋根瓦葺き替え、経年により剥離したコンクリート柱を補修した。
 東金城家住宅主屋の屋根瓦、小屋組、柱、壁等の取替及び蟻害対策を行った。
 上勢頭家住宅東屋の屋根茅葺き替え及び蟻害対策、小屋組及び壁等を補修した。
 事業費総額：11,079千円

	平成24年度	昭和62年度～平成24年度
町負担額	1,276千円	51,959千円
県補助額	941千円	43,702千円
国庫補助額	8,862千円	369,400千円
合計	11,079千円	465,061千円

⑦重伝建 渡名喜村渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

事業種別：国庫補助事業
 事業主体：渡名喜村
 事業の目的：伝統的建造物群の適正な保存を図る。
 事業内容：下記保存物件の保存修理事業
 桃原家住宅石垣について経年による緩み及び欠損があることから保管平サンゴを補足して野面積みにより修理した。
 上原家住宅附属舎について屋根改修及び防水シート設置、腰壁を修景した。
 比嘉家住宅主屋について屋根改修及び防水シート設置、壁、柱等を修景した。
 事業費総額：6,152千円

	平成24年度	平成12年度～平成24年度
村負担額	708千円	36,505千円
県補助額	523千円	32,273千円
国庫補助額	4,921千円	336,887千円
合計	6,152千円	405,665千円

(2)美術工芸

①在外沖縄関連文化財調査

事業総額：696千円
 事業種別：県単独事業
 事業主体：沖縄県
 調査期間：平成24年8月13日（月）～8月18日（土）
 調査目的：琉球王国時代から現在に至るまで、沖縄では数々の優れた価値を有する文化財が生み出されてきたが、様々な理由によって、散逸してしまった。本調査は海外に散逸した、琉球関係の資料を収集することにより、沖縄戦などで失われた文化財を補完し、沖縄文化の体系化の基礎資料作成を目的としている。
 事業概要：平成24年8月13日から8月18日の期間、在外文化財調査のため中国福建省福州市福建師範大学、台湾台北市故宮博物院、台湾大学での調整及び調査を行っ

有識者

調査員

- ・上江洲安亨（首里城公園管理センター 係長）
- ・金城ひろみ（琉球大学法文学部 准教授）

事務局：

- ・平川信幸（文化財課 主任）



福建師範大学 閩台区域研究中心



福建師範大学が管理する琉球人墓碑



台北故宮博物院図書文献館



国立台湾大学図書

②琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：19,590,820（国15,600,000、県600,000、市3,390,820）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成24年4月26日～平成25年3月31日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈され文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

尚家文書は、1995年に寄贈を受けて以来、調査・展示、マイクロ撮影等を行ってきたが、膨大な資料群の中には破損状態がひどく、展示公開に耐えられない状態のものも多く、また内容調査のためにマイクロ撮影を行うにも頁を開くことさえ難しい状態のものも少なくない。さらに王国解体後は東京に持ち運び保管してきた尚家で修理・合本などの手が加えられたものも多数あり、修復知識のない状況で行われた修理が、現在では資料自体に悪影響を及ぼしているものも見受けられる。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類35冊の修理を行う。

(3) 銃砲刀剣類の登録

① 沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

* 沖縄県教育委員会委嘱（任期平成24年6月1日～平成26年3月31日）

大嶺 信義（刀剣研究家）

上原 正人（刀剣研究家）

兼濱 清周（刀工）

② 登録審査会

日 時：平成25年2月23日（金） 14：00～16：45

場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室

審査件数：5件（内訳：刀5、脇差し0）

登録証交付件数：5件（内訳：刀5、脇差し0）

登録証再交付申請：5件（内訳：刀5）

③ 登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	5	5	
	脇 差 し	0	0	
	短 刀	0	0	
	や り	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		5	5	

④ 証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料（新規登録）	5	6,300円/件	31,500円	
審査手数料（再交付）	1	3,500円/件	3,500円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計	4		35,000円	

⑤ 登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

種 別	銃砲など	刀剣類	計
譲り受け	0	2	2
相 続	0	7	7
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
(発見届)	(0)	(5)	(2)
合 計	0	9	9

2. 無形文化財

(1) 芸 能

①重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額:15,596千円(国13,676千円、県450千円、保存会1,470千円)

実施方法:国・県補助による伝統組踊保存会直営事業(会長:島袋光晴)

事業内容:伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を前期、後期に分けて行った。

事業期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日

研修発表会:期日、内容、配役等は下記のとおり。

【前期】平成24年9月15日(土)・16日(日) 国立劇場おきなわ大劇場 14時開演

1) 古典音楽斉唱 天川節・仲順節

[歌三線] 喜名進 上間宏敏 渡名喜康広 糸数一雄 照喜名朝国 玉城直樹 源河徳淳 大城竹秀
運天伊作 大嶺雅規 西村勉 上原睦三 砂川昌轍 宮里政栄 山川雅之 沖充 大城貴幸
銘苅盛隆 島袋功 新地孝一 上間克美 仲順利治 高江洲昌市 平川善喜 目取眞永良
宮城豊 金城繁 石川親助 平良薫 宮里究一 福地優 比嘉謙次 江洲眞徳 佐久本兼和
宮城澄雄 新城康弘 多和田眞一 大宜味朝和 神田米三 又吉章盛 城間辰彦 新垣武
城間盛秋 大代英雄 諸見川和男 比嘉三男 崎浜秀貴
〔 箏 〕 島袋八重子 玉城弥生 久貝栄喜 池間北斗 与座末子 新屋のり子 今倉理子 仲松恒子
天久洋子 手登根廣美 大城幸枝 山田和子 大道タケ子 西村富子 波平エミ子 上地律子
名護みのり 仲宗根玲子 仲大千咲 運天美和子 米須好子 眞喜志美奈子 伊波彰子
屋比久和子
〔 笛 〕 喜友名隆
〔 胡弓 〕 稲嶺一夫

2) 組踊「執心鐘入」

[指 導] 立方:金城清一・海勢頭あける・眞境名律弘 歌三線:金城武信

箏:安里ヒロ子・宮城秀子 笛:宇保英明 胡弓:山内秀雄 太鼓:喜舎場盛勝

15日(土)

[配 役] 中城若松(金城真次) 宿の女(伊野波盛人) 座主(名嘉山佑一) 小僧1(稲福清彦)
小僧2(大城常正) 小僧3(前當正雄) 鬼女(仲村圭央) 後見(友寄隆乃進)

[地 謡] 歌三線:濱元盛爾・瑞慶覧長仁・花城英樹・幸喜信明・島袋朝夫・松本紀

箏:東江朝子・石川洋子 笛:我那覇常允 胡弓:嶺井敦弘・石川清二 太鼓:神山常夫

16日(日)

[配 役] 中城若松(金城真次) 宿の女(田口博章) 座主(名嘉山佑一) 小僧1(具志堅朝堅)
小僧2(山崎啓貴) 小僧3(阿嘉修) 鬼女(仲村圭央) 後見(伊野波盛人)

[地 謡] 歌三線:上地正隆・仲嶺伸吾・宮里敏則・仲原善光・大田陽則・新垣博史

箏:名嘉ヨシ子・久手堅直子 笛:宮城英雄 宇保朝輝 胡弓:川平賀道・東江桑雄
太鼓:比嘉聰

3) 組踊「護佐丸敵討」

[指 導] 立方:眞境名正憲・比嘉良雄・儀保政彦 歌三線:喜友名朝宏

箏:高良時江・山内照子 笛:知念久光 胡弓:銘苅春正 太鼓:宇座嘉憲

15日(土)

[配 役] あまおへ(宇座仁一) 母(親泊邦彦) 鶴松(平田智之) 亀千代(玉城匠)

供1(安次嶺浩和) 供2(神谷清一) 供3(山入端實) きやうちゃこ持(前當正雄)

[地 謡] 歌三線:金城光信・吉本博昌・松田盛・下地康雄・山城正俊・崎濱秀光・宮城操

箏:安慶名久美子・田港あゆみ 笛:眞地利尚・上原政市

胡弓:崎濱盛勇・高宮城実人 太鼓:福原敬

16日(日)

[配 役] あまおへ(神谷武史) 母(岸本剛) 鶴松(宮城茂雄) 亀千代(玉城匠)

供1(宮里徹雄) 供2(金城陽一) 供3(山入端實) きやうちゃこ持(山崎啓貴)

〔地謡〕歌三線：糸数昌治・上原宗真・比嘉康雄・長浜眞勇・銘苺良三・宮城勝秀・玉城巖
箏：宮里秀明・平良マサエ 笛：崎原盛次・喜友名隆
胡弓：照屋健・稲嶺一夫 太鼓：国場秀治・儀間政仁

【後期】平成24年11月17日(土)・18日(日) 国立劇場おきなわ大劇場 14時開演

1) 古典音楽斉唱 天川節・仲順節

〔歌三線〕宮原弘和 金武宗吉 城間盛久 島袋盛一 新垣俊道 仲村逸夫 金城正光 渡久山春憲
安次嶺正雄 東恩納武 宮城幸盛 玉城秀治 福原長次郎 與儀正俊 松田邦昭 松田幸弘
神谷乗成 喜瀬学 佐久本盛明 小渡恒雄 知花昌誠 宇栄原宗勝 玉那覇昭二 平良晨一
与那嶺豊 宮城竹茂 上地政春 赤嶺武史 新城雄一 大城次男 中村昌光 謝敷アンヘル
〔箏〕屋嘉比桂子 仲嶺貞夫 上地七重 比嘉玲子 山城真理子 松本敬子 仲村和子 喜屋武初江
比嘉淳江 白金晴香 長田綾子 國吉裕子 神谷和枝 米須幸子 玉城明子 野里葉子
宮城泰子 宮平榮子 稲福貴子 上原妙子 米須弥生
〔笛〕中村昌盛
〔胡弓〕祖堅信義
〔太鼓〕国場秀治 福原敬

2) 組踊「萬歳敵討」

〔指 導〕立方：親泊久玄・島袋光晴・赤嶺正一 歌三線：首里良三
箏：高良時江 笛：大湾清之 胡弓：新城清弘 太鼓：宇座嘉憲

17日(土)

〔配 役〕高平良御鎖(玉城盛義) 謝名之子(嘉数道彦) 慶雲(佐辺良和) 高平良の妻(岸本剛)
高平良の娘(大城常正) 列女1(中村圭央) 列女2(名嘉正光) 供1(比嘉吉保)
供2(安次嶺浩和) 道行人(山入端實) きやうちゃこ持(金城敬一郎)

〔地謡〕歌三線：前原信喜・新城治・砂辺孝真・金城善雄・徳村朝昭・大城幸雄・宮平光英・新垣和則
箏：大道タケ子・天久洋子 笛：喜舎場孫好 胡弓：栄野元弘・宇江城栄 太鼓：天久祥

18日(日)

〔配 役〕高平良御鎖(親泊邦彦) 謝名之子(平田智之) 慶雲(宇座仁一) 高平良の妻(岸本剛)
高平良の娘(石川直也) 列女1(大湾三瑠) 列女2(名嘉正光) 供1(當山力)
供2(安次嶺浩和) 道行人(具志堅朝堅) きやうちゃこ持(比嘉吉保)

〔地謡〕歌三線：玉城利和・山城充幸・金城幸浩・前村治・浦崎直邦・大城次郎・座波洋平
箏：大城幸枝・波平エミ子 笛：喜舎場孫好 胡弓：栄野元弘・宇江城栄 太鼓：天久祥

3) 組踊「手水の縁」

〔指 導〕立方：宮城能鳳・嘉手苺林一 歌三線：喜瀬慎仁
箏：上地尚子 笛：嘉数世勲 胡弓：銘苺春政 太鼓：喜舎場盛勝

17日(土)

〔配 役〕山戸(宮城茂雄) 玉津(金城真次) 志喜屋大屋古(宮里徹雄) 山口西掟(玉城匠)
門番(稲福清彦) 後見(宮里光也)

〔地謡〕歌三線：池原憲彦・渡久山英男・金城清一・宮城尅・新垣一雄・浜比嘉宗一・新垣浩
箏：美里登喜子・上間千枝子 笛：仲田治巳・大城聖
胡弓：又吉真也・幸喜信正 太鼓：比嘉聰・與那覇徹

18日(日)

〔配 役〕山戸(東江裕吉) 玉津(新垣悟) 志喜屋大屋古(川満香多) 山口西掟(山崎啓貴)
門番(田口博章) 後見(中村圭央)

〔地謡〕歌三線：勝連繁雄・大湾朝重・末吉政利・上原伸浩・比嘉俊雄・稲嶺盛律・田港朝弘
箏：桃原和枝・喜久村克子 笛：中村昌成・大城聖
胡弓：高宮城実人・祖堅信義 太鼓：金城盛松・神山常夫

【成果発表 名護公演】平成25年2月2日(土) 名護市民会館大ホール 14時開演

第1部 琉球舞踊「老人老女」親泊邦彦・當山力 「下り口説」具志堅朝堅

「天川」大湾三瑠 「谷茶前」名嘉正光・仲村圭央

第2部 組踊「萬歳敵討」

高平良御鎖(親泊邦彦) 謝名之子(平田智之) 慶雲(宇座仁一) 高平良の妻(大湾三瑠)
高平良の娘(石川直也) 列女1(名嘉正光) 列女2(仲村圭央) 供1(當山力)
供2(安次嶺浩和) 道行人(具志堅朝堅) きやうちゃこ持(安里光也)
〔地謡〕 歌・三線：玉城利和・山城充幸・金城幸浩・座波洋平
箏：大城幸枝 笛：喜舎場孫好 胡弓：栄野元弘 太鼓：天久祥

②重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額:10,054千円(国7,000千円、県130千円、保存会2924千円)

実施方法:国補助による琉球舞踊保存会直営事業(会長:玉城節子)

事業内容:伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日

研修会:期日、内容等は下記のとおり。

1 趣旨

琉球舞踊の古典舞踊について、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを目指す。

2 内容 琉球舞踊の古典七踊りの研修

3 今年度課題 「作田」

- 9月2日(日) : (13時～14時) 伝承者研修開講式
事業の趣旨、計画の説明、伝承者の心得の確認、課題演目の発表、
伝承者認証状の発行
(14時～15時) 講話「作田節の歌詞」
講師：波照間永吉 先生
会場：沖縄市民会館大ホール
- 12月24日(月) : (13時～17時30分) 第1回伝承者研修
新垣松含・渡嘉敷守良・読谷山親雲上・川平親雲上・屋我良勝
玉城盛重(宮城能造)
会場：沖縄市民会館大ホール
- 1月6日(日) : (13時～17時30分) 23年度研修成果発表会
会場：沖縄市民会館大ホール
- 3月10日(日) : (13時～17時30分) 24年度研修成果発表会

平成24年度研修成果発表会

平成25年3月10日(日) 沖縄市民会館 13時～18時30分

- (1) 新垣松含系列
 - ① 比嘉澄子グループ
(舞踊) 比嘉早苗
歌三線：野村流(伝統音楽協会) 新垣和則・宮平光英・謝敷アンヘル・國吉啓介
箏：高江洲初子 笛：喜舎場孫好 胡弓：照屋健
- (2) 渡嘉敷守良系列
 - ② 渡嘉敷守章グループ1
(舞踊) 花岡勝子
歌三線：安富祖流 慶覧長仁・瑞慶覧朝孝・大嶺雅規・玉城善廣・太田陽則
箏：上地敏子 笛：宮城英夫 胡弓：嶺井敦弘
 - ③ 渡嘉敷守章グループ2
(舞踊) 金城光子
歌三線：安富祖流 松本紀・國仲貴光・宮里一人・眞栄城玄俊
箏：赤嶺芳枝 笛：清村まり子 胡弓：嶺井敦弘
 - ④ 渡嘉敷守良グループ
(舞踊) 児玉由利子

- 歌三線：野村流（伝統音楽協会） 中村昌光・大城次男・潮平浩佑・神里朝弘
 箏：下地睦子 笛：座波雪子 胡弓：玉那覇昌子
- (3) 読谷山親雲上系列
- ⑤ 金武良章グループ
 (舞踊) 安座間明美
 歌三線：野村流（保存会） 勝連繁雄・桃原広政・糸数正男・池原朝雄
 箏：比嘉玲子 笛：仲田治己 胡弓：森田夏子
- ⑥ 阿波連本啓グループ
 (舞踊) 屋比久節子
 歌三線：野村流（協会） 高江洲昌市・崎浜秀光・吉元博昌・仲順利治
 箏：金城貴美子 笛：知念久光 胡弓：当真嗣友
- (4) 屋我良勝系列
- ⑦ 山田貞子グループ
 (舞踊) 山内小夜
 歌三線：野村流（協会） 金城光信・久場良昌・宮平永次郎・糸数昌治
 箏：中村美智子 笛：真地利尚 胡弓：照屋健
- (5) 高原安詩・屋我良勝系列
- ⑧ 比嘉清子グループ
 (舞踊) 比嘉倫子
 歌三線：野村流（協会） 島袋功・西村正吉・宮城厚博・城間盛秋
 箏：新垣宜子 笛：崎原盛次 胡弓：祖堅信義
- (6) 玉城盛重（宮城流）系列
- ⑨ 宮城能造グループ
 (舞踊) 2代目宮城能造
 歌三線：安富祖流 照喜名智・花城吉治・勝連達也・具志幸大・新垣一典
 箏：宮城豊子 笛：宇保朝輝 胡弓：玉那覇昌子
- ⑩ 宮城能造・田代タカ子（宮城美能留）グループ
 (舞踊) 古謝弘子
 歌三線：野村流（保存会） 宮城欣也・上原伸浩・池原憲彦・喜瀬学
 箏：具志堅初美 笛：崎原盛次 胡弓：祖堅信義

③選定保存技術「結髪(沖縄伝統芸能)」伝承者養成事業

事業総額:1,176千円(国1,106千円、県30千円、保持者40千円)

実施方法:国・県補助による保持者直営事業

事業主体:古波蔵佐紀(雅号 小波則夫)

伝承者:古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間:平成24年4月10日～平成25年3月31日

場 所:自宅工房

事業内容:結髪(沖縄伝統芸能)は、沖縄の伝統芸能で役柄に相応しい伝統的な髪を結い上げる技術である。

(1)伝承者養成事業

沖縄の伝統的な髪型の中でも最も装飾が多く、古典舞踊で汎用される垂髪(カムロ)を習得させた。特に頭頂部の扇形の輪や鬢で作る輪の曲線、髪の締め具合等を教授した。

(2)記録の作成及び刊行事業

技術普及のためのリーフレットと、技術伝承のための教則ビデオを作成した。

④選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額:7,213千円(国7,000千円、県100千円、保存会113千円)

実施方法:国・県補助による保存会直営事業

事業主体:組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

技術者:道具 金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原じゅん子 志田真木

衣裳 糸満和美

伝承者:道具(渡邊優子 佐渡山也子 金城小百合 新垣克) 衣裳(山田幸子)

事業期間:平成24年4月10日～平成25年3月31日

場 所:各技術者の工房

事業内容:組踊道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことが出来ない。

(1) 伝承者養成事業

- ① 道具:組踊道具の製作をした。技術者3名(金城裕幸 新垣孝 平田智之)が、伝承者4名(渡邊優子 佐渡山也子 金城小百合 新垣克)を指導し、233回の研修を行った。
- ② 衣裳:組踊衣裳の製作をした。技術者1名(糸満和美)が、伝承者1名(山田幸子)を指導し、48回の研修を行った。

(2) 技能、技術の錬磨

県内外にある作品・素材・技術(舞台公演を含む)を見学し、その知見を作品、技術に反映させた。

⑤ 県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額:1,132千円(県648千円、保存会484千円)

実施方法:県補助による琉球歌劇保存会直営事業(会長:仲嶺眞永)

事業内容:伝承者養成の研修会を行い、成果発表会を行った。

事業期間:平成24年10月2日～平成24年11月29日

研修発表会:平成24年11月29日(木) 沖縄市民小劇場あしひなー 18:30開演

演 目:歌劇「今帰仁祝女殿内」「首里上り小」

指 導:伊良波冴子・久高将吉・平良進・森田豊一・与座ともつね・吉田妙子

研 修 者:「今帰仁祝女殿内」

踊り方 具志清健 金城真次 仲村志津子 伊良波さゆき 宮里良子 知名剛
大城常正 国吉亜希子 島袋ゆかり 時田美夢 前川勝子 山川宗春

「首里上り小」

踊り方 上間基 知念亜希 小嶺和佳子 譜久原明 安次嶺利美 赤嶺啓子 糸数清
地謡 仲宗根盛次 金城清徳

⑥ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額:311千円(県100千円、保存会211千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業(会長:前川朝文)

事業内容:伝承者養成研修会を実施し、保持者による技能指導を行った。

事業期間:平成24年12月9日～平成25年2月17日

研 修 会 :平成24年12月9日(火) 北谷町老人センター

平成25年2月17日(日) 北谷町老人センター

伝 承 者 :宮城操、大城英雄、宮里宏、銘苅良光、松川亨、仲嶺盛文、神田久男、仲順利治、佐久本嘉夫、
桃原廣栄、宮里武廣、伊波政光、城間盛秋、仲尾善勝、大宜味朝和、佐喜真光雄、伊佐ヒサ子、
与座順光、高江洲昌市、小嶺長則、新崎盛忠、小渡良盛、浦崎直吉、糸数昌治、渡名喜庸、
濱里長希、宮城厚博、吉野久一、宮城豊、松田盛、下地康雄、島袋進孝、上門正光、
安慶名盛一、平川善喜、池原盛光、徳門清春、山城正俊、徳原清文、多和田真一、幸地堅吉、
赤嶺勝巳、兼島兼良、大城昭成、安慶名榮、山城善吉、喜友名朝清、池宮城克成、普天間安弘、
伊計和夫、佐久本兼和、玉栄真光、渡慶次淳、中村正幸、伊良皆勇吉、新地孝一、新城敬一、
仲程忠、池原憲勝、比嘉秀昭、島袋功、吉本博昌、仲宗根朝儀、當間正義、伊野波盛健、
神谷繁和、金城栄徳、新城永文、勝田宗和、前田傳松、金城茂、小那覇安睦、屋宜盛一、
キース仲兼久、ノーマン金城、儀間剛、仲本喜至、金城清一、比嘉義勝、野原廣信、久高将寛、
知花昌誠、玉那覇昭二、金城勉、東恩納武、宮城赳、渡久山春憲、宮城修、宮城幸盛、
伊波三郎、普久原朝次郎、新垣浩、浦崎清子、稲嶺盛律、喜瀬学、上原宏子、上地弘子、
糸数春美、上原トミ子、松田邦昭、宇栄原宗勝、田港朝弘、伊禮均、仲宗根裕 神田朝和、
中村一史、安次嶺正雄、新垣親栄、池原朝雄、浜比嘉宗一、田場典明、渡真利清吉、
仲村修博、豊川英健、上原良秀、黒島惇、比嘉聡、与儀正俊、新垣晃久、宇根良則、
神谷清一、宮城信子、新井勝巳、高那真盛、比嘉俊雄、糸数正男、座安清喜、瑞慶覧長良、
大城次郎、宮城善徳、大城喜功、潮平浩佑、浦崎直邦、上原昌栄、仲程寶雄、神谷清吉、
太田隆健、座波朝正、比嘉初江、吉本重雄、具志盛義、中村昌光、仲宗根巴津美、島袋久、
宮平弘和、崎原盛次ぐ、渡慶次淳、與那嶺雄誠、伊波正博、照屋健、當間嗣友、伊波政光、

和宇慶正雄、高良利雄、柳アリン、徳子、比嘉敏子

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額:310千円(県100千円、保存会210千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業(会長:照喜名朝一)

事業内容:保持者の指導による伝承者養成研修会(11回)を実施した。

事業期間:平成24年4月23日～平成25年3月31日

研修会:平成24年4月～平成25年3月 国立劇場おきなわ稽古室(実技研修)
平成24年5月27日 パシフィックホテル エフカイの間(講義研修)

講師:北島角子(女優) 演題「優しさに出会って」

伝承者:比嘉元太、喜屋武肇、平田永哲、宮良圭蔵、上原常宏、上間宏敏、安仁屋友彦、新屋勝正、瑞慶覧長仁、村田定弥GURANT、玉堂昭夫ケンテン、新城亘、池原佳恵、平良萬吉、喜屋武博、喜久村元、金城朝昭、玉城成輝、沖充、東江条雄、金城武、伊禮得守、大城進昭、花城吉治、田港保弘、宮里幸夫、嘉陽田朝純、上地正隆、渡名喜康広、野底忠、太田陽則、嶺井敦弘、真喜志敏子、中村正盛、知花柳盛、濱元盛爾、島袋元一、与那嶺茂春、赤嶺美枝子、富原守信、稲福義男、宮城能慎、糸数一雄、浦崎康信、照喜名進、宇栄原宗徹、瑞慶覧朝孝、成田源幸、仲盛康、西村勉、宮里敏則、座波千代子、比嘉静子、比嘉順実、赤嶺幸喜、又吉由美子、與那原良英、宮城能正、新木孝三郎、嘉数三郎、神谷博和、伊泊辰夫、濱元智隆、仲嶺伸吾、山根安行、新垣安弘、照喜名朝之、照喜名朝国、石川清二、島袋朝夫、仲宗根ヨシ子、比嘉真三、金城盛夫、上原達雄、我那覇留美子、喜納潤一、與座盛康、上原源三、上原聡、阿良行晴、川平賀道、仲原善光、城間恒子、安富祖忠章、小浜博文、笹谷正一、宮里一人、桃原弘三郎、赤嶺正男、上原敏通、糸数宝通、喜名正勝、嶺井政仁、上原民源、新川光男、安森晃、座安清規、佐久本盛正、新盛直一、大嶺雅規、岸本隼人、金城康昌、大城久昇、平田邦夫、上原睦三、照喜名智、我那覇常充、内間繁、宮里政栄、富名腰須賀江、赤嶺良雄、具志堅いち、島袋儀夫、富名腰乃、金城力、松本紀、岸本剛、山川雅之、花城秀樹

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額:359千円(県100千円、保存会232千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業(会長:上地尚子)

事業内容:保持者の指導による伝承者養成研修会(3回)、並びに実演家による特別講演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。

事業期間:平成24年7月22日～平成25年3月31日

研修会:平成24年8月12日(日)、12月8日(土)、平成25年2月20日(水)
国立劇場おきなわ稽古室(実技研修)

特別講演会:平成25年2月20日(水) 国立劇場おきなわ稽古室

講師:八木政男(特別講演会「しまくとぅば(よもやまばなし)」)

伝承者:喜納順子、當間スミ、仲真竹子、新城幸子、名幸理美子、儀間武子、中島絹枝、宮城園子、前田利子、許田恵美子、前田千代子、松堂和子、新垣涼子、崎山文子、具志堅孝子、知名勝江、東江朝子、山内照子、大道タケ子、山田和子、名嘉ヨシ子、神谷和枝、上地律子、石川洋子、仲宗根巴津美、知念佐代子、手登根廣美、宮良まさみ、島袋芳子、嘉数カツ子、東恩納郁子、山城芳枝、国吉清子、久田ヨシ子、栗国郁子、新垣宜子、喜久村克子、平良マサエ、上間千枝子、中村美智子、城間良子、具志堅初美、比嘉淳江、比嘉博明、比嘉玲子、屋嘉比桂子、上地七重、比嘉トキ、崎原展子、新田邦子、松田勝子、宇良タカ子、森田薫、崎原のり、吉原裕子、高江洲初子、野村時子、玉城弘子、名嘉真直子、仲間頼子、沢岷京子、比屋根安子、新垣晴子、仲村貞子、山城カズエ、美里登喜子、上地吉子、仲本泰子、山城ヨシ子、長田京子、仲宗根順子、中村富子、上間節子、名嘉ハツ、波平エミ子、伊波治代子、諸見里キミ、山内光子、安里恵美子、牧港和子、山川幸子、中山民子、米須幸子、比嘉敏江、与座末子、高江洲順子、佐渡山久江、久手堅順子、知花喜子、宮城秀子、神谷広美、宮城ミサ子、宮里秀明、大城レイ子、山川ヤス、翁長ミサ子、知名初枝、新本澄子、比嘉良子、島袋喜美子、大城仁子、桃原フミ子、比嘉美恵子、桃原和枝、松永敬子、末吉弘子、大城律子、仲村和子、喜屋武初江、渡久山美智子、山城真理子、金城君江

(2)工芸技術

①重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,589千円（国 7,000千円、県 150千円、村 436千円、保存会 3千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①技能保持者3人、修了生7名で、平成23年度までの受講生8名を対象に個々人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 染色、4) 緋結び、
5) 製織、6) 撚り掛け、7) 整経、8) 洗濯・仕上、9) 苧績み

②全重協秀作展、沖縄県立博物館・美術館、沖縄大学院大学での視察研修を行った。

(2) 資料収集整理事業

①古芭蕉布の購入を行った。

(3) 技術研究事業

①奄美大島、久米島に所在する芭蕉布の調査を行った。

②琉球王府時代の女性の中着芭蕉布裙（カカン）の製作を依頼し、購入した。

(4) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講師：平良敏子（染色）

平良美恵子（芯止め、葉打ち、織り）

辺土名加代子、平良京子、宮城涼子、大城章子、山城雪枝
（苧倒し・苧引き）

翁長洋子（緋結び）

山城洋子（織り）

當間廣子（洗濯）

伝承者：仲村要子（9）、内藤京子（8）、大城絹恵（5）、吉田木綿（5）、
松本勝枝（4）、山城薫（3）、加藤泉（2）、前田明子（1）

*伝承者氏名に続く()内の数字は受講回数を示す。以下同様。

事業期間：平成24年6月1日～平成25年3月25日

場所：大宜味村立芭蕉布会館、芭蕉布織物工房

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,581千円（国 8,000千円、県 179千円、市 280千円、保持団体 122千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①本年度は、図案・手括り（講師1名、伝承者1名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り（講師2名、伝承者2名）、砧打ち（講師1名、伝承者1名）の4部門において実施した。

また、外部講師を招いて琉装仕立て及び御絵図柄についての講義を実施した。

②全重協秀作展等の見学研修を実施した。

(2) 資料の収集整理

宮古上布（古布）を資料として購入した。

(3) 技術研究

大正・昭和時代を代表する下地恵康氏らの緻密で絵画的な手括り宮古上布の再現を行う。今年度は経緋 61～120 番、緯緋 1～8 番の手括り（2 反分）及び経緋糸、経地糸の藍染め（2 反分）を委託した。

(4) 原材料・用具の確保

経巻き台 1 台、木槌 1 本、衣桁 1 台を購入した。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講師：下地達雄（図案・手括り）、平良清子（染め）、豊見山カツ子（織り）

平良洋子（織り）、砂川猛（砧打ち）

伝承者：松堂初美（1）、平良享子（1）、島袋恵（1）、長濱政子（3）、

本村千智（2）、砂川一人（2）

事業期間：平成 24 年 4 月 10 日～平成 25 年 3 月 31 日

場所：指導者自宅工房及び研修生自宅

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,232 千円（国 8,000 千円、県 100 千円、町 54 千円、保持団体 78 千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：山城宗太郎）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、製織の伝承者養成講座を実施した。

②養蚕は、4 名の講師で伝承者 10 名に桑の葉の取り方から上族まで毎日 2～3 日の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。

③絹糸作り、真綿作り、織りは、各 3～4 名の講師で行った。絹糸作りは、ケンネル（座繰り機）を用いた講習を行った。糸つむぎは、5 名の講師で真綿からの糸ひきの講習を行った。

④全重協秀作展等の関連文化財視察を行った。

(2) 原材料・用具の確保

養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

①琉球多蚕繭の試験飼育を行った。普通種、「琉球多蚕繭（黄系綾部）」、「琉球多蚕繭（静岡）」の 3 種を同時に飼育し、比較を行った。

②文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講師：山城宗太郎（養蚕、絹糸作り）

桃原禎子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織）

宮平トシ子（養蚕、真綿作り、糸つむぎ、製織）

幸地綾子（養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、製織）

神里節子（絹糸作り・真綿作り）

高坂エミ子（真綿作り、糸つむぎ）

平良美智子（糸つむぎ）

伝承者：山城智子（6）、我那覇ケイ子（6）、平田とき子（6）、古堅ヨシエ（6）、

神里智江（6）、島袋佐枝（6）、大田広美（6）、儀間勝枝（6）、

吉永ルリ子（6）、佐久田康子（6）

事業期間：平成 24 年 4 月 10 日～平成 25 年 3 月 31 日

場 所：久米島紬の里ユイマール館

②国選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：2,334 千円（国 1,106 千円、県 225 千円、町 100 千円、保持者 903 千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保持者直営事業

事業主体：伊野波盛正（保持者）

事業内容：琉球藍は沖縄の染織品の製作には不可欠な原材料で、現在、選定保存技術保持者である伊野波盛正が唯一の製造者である。藍の製造は自然環境に左右されやすく、安定した供給と高い品質を維持するためには藍葉の栽培・管理と高度に熟練した藍製造の技術が要求される。藍の製造は年 2 回（6 月、11 月）行われるが、今年度は染料としての藍の品質を決定する藍（リュウキュウアイ）の栽培管理に重点を置き、藍葉の植付け、施肥、除草、刈入れ、熟成・発酵、沈澱・濾過の藍製造の一連の技術錬磨の事業を実施した。同時に、5 名の伝承者養成を行った。

伝 承 者：小橋川茂、仲井間憲一、玉城昭正、伊野波盛興、金城明

事業期間：平成 24 年 4 月 10 日～平成 25 年 3 月 29 日

場 所：伊野波盛正の藍畑・工場

イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：6,515 千円（国 6,000 千円、県 105 千円、町 400 千円、保存会 10 千円）

実施方法：国・県・町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：伊良波幸秀）

事業内容：

（1）伝承者養成事業

①伝承者 2 名に対して、藍製造技術の伝承者養成及び技術・技能の向上のための指導を行った。作業工程は以下の通りである。

1) 藍葉植え付け、2) 施肥、3) 除草、4) 刈り入れ、5) 熟成・発酵、6) 沈殿・濾過

②芭蕉布工房にて琉球藍染めの視察研修を行った。

（2）技術技能の錬磨事業

①藍草の栽培について、会員 6 名の技術技能の錬磨を行った。

②技術技能の錬磨に必要な備品の購入を行った。

（3）その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講 師：伊野波盛正（泥藍製造、藍葉育成）

伝 承 者：竹山安秀、仲西利夫

事業期間：平成 24 年 4 月 10 日～平成 25 年 3 月 29 日

場 所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍葉農家の畑

エ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,471 千円（国 1,106 千円、県 134 千円、保持者 231 千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成24年4月11日～平成25年3月30日

場所：大城織機製作所

③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県320千円、保存会106千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：型紙を使用して染めるびん型(白地型びん型、返し型びん型、染地型びん型、臙型びん型、二重型びん型)と、型紙を用いず、糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型のいずれかの指導を行った。各工程については次のとおりである。

- 1) 下絵、2) 型紙彫り／糊袋作成、3) 型置き／筒描き、4) 色差し、5) 糊伏せ、6) 地染め

講師：城間榮順、知念績元、喜友名盛蔵

伝承者：迎里勝（1）、知念績人（2）、喜友名速（16）

事業期間：平成24年11月1日～平成25年3月29日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：349千円（県259千円、保存会90千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「手巾」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- 1) 意匠設計作成、2) 糸精錬、3) 経糸染色、4) 経糸糊付け、5) 経糸繰返し、6) 整経、7) 仮箆通し、8) 経巻き、9) 花綜紘作り、10) 綜紘通し、11) 箆通し、12) 織付け、13) 緯緋小摺あげ、14) 緯緋括り、15) 緯糸染色、16) 緯糸小管巻き、17) 製織、18) 整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバース・ミヤヒラ吟子

伝承者：古屋英子（7）、島袋幸恵（6）、野原園子（8）、
玉木由香（3）、金城桃子（4）、金城麻希子（2）

事業期間：平成24年11月1日～平成24年12月27日

場所：各保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448千円（県337千円、保存会111千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）
事業内容：伝統的染料である琉球藍で染色を行い、製織(着尺)を指導した。
講師：比嘉恵美子、島袋秀、池原ケイ子
伝承者：島袋明美（17）、比嘉昌子（5）、山田恵利子（5）
事業期間：平成24年10月1日～平成25年3月29日
場所：各保持者工房

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県320千円、市60千円、保存会46千円）
実施方法：県・市補助による保存会直営事業
事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）
事業内容：括り、捺染の技を受講生の経験に応じて技術指導した。中村澄子氏の工房では着尺に統一して指導した。新垣幸子氏の工房では、前年同様苧麻の苧倒しから苧引きや紡ぎ方を講習の一環として組み込んだ。また、今年度は経緯手績み糸を使用し、帯地を仕上げた。
作業工程は以下の通りである。
1) 図案作成、2) 経糸染色、3) 整経、4) 経糸のり張り、
5) 経緋括り、6) 経緋染色、7) 経緋のり付け、8) 経仮箆通し、
9) 経糸巻き込み、10) 綜紘通し、11) 本箆通し、12) 織り、
13) 布面整理、14) 洗い張り（伸子張り）、15) 仕上げ
講師：新垣幸子、中村澄子
伝承者：中村雪江（2）、秦和美（10）
事業期間：平成24年10月1日～平成25年2月28日
場所：各保持者工房

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：349千円（県262千円、保存会87千円）
実施方法：県補助による保存会直営事業
事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）
事業内容：昨年度から継続の各伝承者（沈金2人・箔絵、螺鈿1人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性等を教授した。各工程は以下の通りである。
沈金：1) デザイン、2) 彫り、3) 金入れ、4) ふきとり、5) 完成
螺鈿：1) デザイン、2) 貝切り、3) 貝に黒漆塗り、4) 器物への貼付け、5) 掃除、6) 1回漆塗り、7) 研ぎ、8) 2回漆塗り、
9) 3回漆塗り、10) 研ぎ、11) 胴摺り、12) 1回摺漆、
13) 2回摺漆、14) 3回摺漆、15) 艶出し、16) 仕上げ・完成
箔絵：1) デザイン、2) 顔料にて置目描き、3) 図案転写、
4) 箔下漆で描く、5) 半乾燥後金箔貼り、6) 掃除、
7) 線描で仕上げ
講師：金城唯喜、前田孝允
伝承者：前田（赤嶺）貴子（16）、国吉亮子（16）、前田栄（3）
事業期間：平成24年11月1日～平成25年3月25日
場所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の信仰用具に関する総合調査事業

事業総額：3,975 千円（国 3,180 千円、県 795 千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成 24 年 6 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日（平成 24 年度から平成 26 年度まで 3 年間継続）

事業目的：沖縄県は祖先祭祀が盛んな地域であり多様な民間信仰がみられる。祖先祭祀や民間信仰に係るものとして家の位牌や祭具があり、村落においては土帝君や石獅子、石敢當、ビジュアルなど独特な信仰対象が各地域に残されている。本調査は、沖縄県全域を対象とした信仰と習俗に係る総合調査を行い、その実態の把握と各地域に現存する信仰用具等の状態、文化的価値等を明らかにし、有形民俗文化財の保護・活用に向けた基礎資料とすることを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部・及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査嘱託員及び調査協力員が信仰用具に関する総合調査を行った。

調査嘱託員：赤 嶺 政 信（琉球大学法文学部教授）

上江洲 均（元久米島自然文化センター館長）

稲 福 みき子（沖縄国際大学総合文化学部教授）

波 平 エリ子（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）

板 井 英 伸（沖縄大学地域研究所特別研究員）

前 田 一 舟（うるま市立海の文化資料館学芸員）

本 永 清（県文化財保護審議会第 5 専門部会（民俗文化財）委員）

調査協力員：4 名

② 宜野座の八月あしびに関する総合調査事業

事業総額：2,028 千円（国 1,622 千円、県 145 千円、村 261 千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：宜野座村

事業期間：平成 24 年 6 月 1 日から平成 25 年 3 月 29 日（平成 22 年度～平成 25 年度まで 4 年間継続）

事業目的：宜野座の八月あしびは、琉球時代の集落の豊年祭に、廃藩置県で零落した土族の芸能文化を取り込み明治 29 年に始まったとされ、宜野座ヌル殿内の神に芸能を奉納し、集落の繁栄と豊年を祈願している。平成七年十一月八日、国の「記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたが、総合的な調査はなされておらず、その実態把握は不十分なため、「宜野座の八月あしび」について、その芸能並びに民俗事象の全体の状況を把握するための基礎調査と、豊年祭（八月あしび）における芸能等についての実地調査を行い、記録を作成する。

実施場所：宜野座村内、その他。

事業概要：「宜野座の八月あしび総合調査委員会」の委員を委嘱し、資料収集、聞き取り調査等を行い基礎資料を収集した。宜野座区の八月あしびの本調査と比較資料として松田区の八月あしびの調査を実施した。

調査嘱託員：大 城 学（琉球大学法文学部教授、芸能研究家）
 宜 保 榮治郎（国立劇場おきなわ常務理事、芸能研究家）
 知 名 幹 夫（元宜野座村立博物館館長、郷土史研究家）
 大 城 義 和
 稲 福 政 斉

調査協力員：2名

③第54回九州地区民俗芸能大会

事業総額：1,050千円（県500千円 団体550千円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：我如古区婦人会

大会名称：第54回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成24年10月14日（日）

開催場所：くすまちメルサンホール（大分県玖珠町）

派遣芸能：我如古スンサーミーは、今から約600年前に、我如古大主がグスクを築城した時の祝宴に披露したのが始まりとされており、以来、地域の豊年と子孫繁栄を祈願して女性のみを受け継がれている。現在では、旧暦三月三日の後日に区の公民館で行われている。

出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	おおたいにおどり 大太鼓踊	いまや おおたいにおどりほぞんかい 今屋大太鼓踊 保存会
2	ながさき 長崎しやぎり	ながさき ほぞんかい 長崎しやぎり保存会
3	つるさきおどり 鶴崎踊	つるさき ほぞんかい 鶴崎おどり保存会
4	ひ ごかぐら 肥後神楽	ひ ごかぐらかい 肥後神楽会
5	やましたいわたがく 山下岩戸楽	やましたいわたがくほぞんかい 山下岩戸楽 保存会
6	どうじようじかぐら 道場寺神楽	どうじようじかぐらこう 道場寺神楽講
7	やまだがく 山田楽	あおきち くやまだがくほぞんかい 青木地区山田楽 保存会
8	しぎようぶんかねぶりゆう 執行分鉦浮立	しぎようぶんかねぶりゆうほぞんかい 執行分鉦浮立保存会
9	がねこ 我如古スンサーミー	がねこふじんかい 我如古婦人会

※ 九州各県から1団体、開催地大分県は2団体

4. 記念物

(1) 史跡・名勝

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計114件（平成25年5月1日現在）である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。

平成24年度は国指定史跡「知念城跡」、「糸数城跡」、「フルスト原遺跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「浦添城跡」、「中城城跡」、「玉城城跡」、「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、歴史の道「ハンタ道」、特別名勝「識名園」、県史跡・名勝「首里金城町石畳道」、で保存整備事業を実施した。史跡等整備活用推進事業は国指定史跡「具志川城跡」（糸満市）で実施した。史跡等土地買上げ事業は国指定史跡の「勝連城跡」、「今帰仁城跡」、「先島諸島火番盛」、「内間御殿」、県指定史跡「久里原貝塚」で直接買上げを実施、「伊江御殿別邸庭園」、「伊礼原遺跡」については先行取得償還で実施した。史跡等保存管理計画策定事業は国指定史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「内間御殿」、「島添大里城跡」で実施した。

①受託事業

発掘調査事業

- ・「首里城跡」発掘調査及び資料整理、報告書刊行業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成24年度は「北城郭エリア」、「御内原東地区・御内原北東地区・東のアザナ北地区」の発掘調査を実施するとともに、「京の内地区」・「淑順門西側・奉神門前」「御内原北地区」の資料整理を行い、発掘調査報告書を刊行した。

事業主体：沖縄県

事業費：56,140,000円

②国庫補助事業

ア) 史跡等の土地買上げ事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等購入（直接買上げ）事業

事業主体：うるま市

事業経費：35,162,090円（国28,000,000円、県1,015,000円、市6,147,090円）

買上げ実績：2,300.00㎡ 6筆

- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等購入（直接買上げ）事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：9,993,718円（国7,994,000円、県237,000円、村1,762,718円）

買上げ実績：1,355.00㎡ 3筆

- c) 事業名：史跡「先島諸島火番盛 川平火番盛」史跡等購入（直接買上げ）事業

事業主体：石垣市

事業経費：4,368,790円（国3,494,000円、県125,000円、市749,790円）

買上げ実績：1,355.00㎡ 3筆

- d) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等購入（直接買上げ）事業

事業主体：西原町

事業経費：19,783,020円（国15,825,000円、県573,000円、町3,385,020円）

買上げ実績：346.68㎡ 1筆

- e) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
事業主体：那覇市
事業経費：10,095,321円（国8,076,000円、県292,000円、市1,727,321円）
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。
- f) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
事業主体：北谷町
事業経費：14,506,000円（国11,604,000円、県421,000円、町2,481,000円）
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

イ) 史跡・名勝の保存整備事業

- a) 事業名：史跡「知念城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：南城市
事業経費：7,500,299円（国6,000,000円、県187,000円、市1,313,299円）
事業内容：○修復工事設計委託業務・修復工事施工監理を委託で実施した。
○城郭南側の城壁修復と崖下への落石対策を工事請負で実施した。

◇知念城跡現場検討会及び整備委員会

- ①平成24年8月14日（知念城跡）
②平成25年2月14日（南城市大里庁舎3階）

◇知念城跡整備指導

- ①平成24年7月31日、10月11日～12日
②平成25年2月15日、19日、3月7日

- b) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：南城市
事業経費：3,915,705円（国3,132,000円、市783,705円）
事業内容：○雑草木で城壁石積みがどのように延びているか判然としない城郭南側崖縁辺部の雑草木伐採を工事請負で実施した。
○城郭南側崖縁辺部の伐採後、現況地形測量を委託で実施した。
○正門南側城壁石積のレーザー計測を委託で実施した。

◇糸数城跡整備委員会

- ①平成24年10月3日（南城市大里庁舎3階）

- c) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：石垣市
事業経費：8,100,969円（国6,480,000円、県202,000円、市1,418,969円）
事業内容：○芝張りに先立って第4号石塁遺構北西部の範囲内の遺構確認のための発掘調査を実施した。
○史跡指定範囲南西部に位置する大石御嶽の北西部周辺部で縮尺1/100、等高線20cmの微地形測量と第4号石塁遺構北西トレンチの集積遺構の写真測量、樹木の伐採及び排出を委託で実施した。
○第2号石塁遺構内に20cmの土盛で土壌を補填した。

○第4号石墨遺構北西部から第10号石墨方面において、芝張りを工事請負で実施した。

○出土遺物の資料整理作業（主に遺物の洗浄、出土地点の注記）を実施した。

◇フルスト原遺跡整備委員会

①平成24年1月8日（石垣市教育委員会会議室）

②平成24年3月21日（石垣市民会館中ホール2階会議室）

d) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：久米島町

事業経費：8,004,692円（国6,403,000円、県200,000円、町1,401,692円）

事業内容：○石積みの修復を行うための基礎資料を得るために三の郭南側外壁において遺構確認のための発掘調査を実施した。

○保存修理工事に伴う設計監理業務を委託で実施した。

○発掘調査や整備委員会の審議結果に基づき、当初予定の三の郭東側城壁修復範囲を縮小して工事を実施。また遺構面の保護と土砂の流失を防ぐため専用の保護シートで被覆し、土のう袋で仮押さえした。

来年度修復工事及びその周辺の石積上部に専用ネットを被覆した。

◇具志川城跡整備委員会

①平成24年12月19日（久米島博物館講堂）

②平成25年2月13日（久米島町役場具志川庁舎）

◇具志川城跡整備現地指導

①平成24年12月19日（具志川城跡）

②平成25年2月13日（具志川城跡）

③平成25年3月13日（具志川城跡）

④平成25年3月19日（具志川城跡）

e) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：浦添市

事業経費：29,001,797円（国23,200,000円、県725,000円、市5,076,797円）

事業内容：○外郭南地区及び内郭西地区の遺構確認のための発掘調査を実施した。

○出土遺物の資料整理（洗浄・分類・接合等）を実施した。

○遺構復元工事に使用するため平成20年度に敷設した仮設道路の延長工事を委託で実施した。

○平成25年度に実施する岩盤保全対策工事の設計を委託で実施した。

◇浦添城跡整備委員会

①平成25年2月14日（浦添市役所7階会議室）

f) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：中城村

事業経費：52,500,012円（国42,000,000円、県1,312,000円、村9,188,012円）

事業内容：○南の郭雨乞ノ御嶽東側広場と一の郭基壇上の遺構確認のための発掘調査を実施した。一の郭基壇上の調査は前年度調査で検出した遺構のうち鍛冶関連遺構の追加調査を実施。

- 出土遺物の資料整理を実施した。
- トイレ新築工事の施工監理を委託で実施。
- 一の郭基壇上の遺構群の写真測量と、南の郭の発掘調査で検出した一の郭西側城壁の外側基礎部分等写真測量を実施、また発掘で出土した金属製品の保存処理、城郭の空撮を委託で実施した。

☆中城城跡整備委員会及び現地指導

- ①平成24年7月2日（中城城跡）
- ②平成24年10月11日（中城村吉の浦会館）
- ③平成25年1月18日（中城村吉の浦会館）
- ④平成25年2月28日（中城村吉の浦会館）

g) 事業名：史跡「玉城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：南城市

事業経費：7,332,896円（国5,865,000円、県182,000円、市1,285,896円）

事業内容：○主郭門南側城壁修復工事に係る設計、施工監理業務を委託で実施した。

○主郭門南側城壁修復工事を工事請負で実施した。

◇玉城城跡整備委員会及び現地検討会

- ①平成24年10月3日（南城市大里庁舎3階会議室）
- ②平成25年2月22日（玉城城跡）

h) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：うるま市

事業経費：30,009,281円（国24,000,000円、県750,000円、市5,259,281円）

事業内容：○四の曲輪東・南区の遺構確認のための発掘調査を実施した。

○二の曲輪から一の曲輪へ上る木階段設置工事等の設計図作成、工事監理を委託で実施した。

○二の曲輪から一の曲輪へ上る木階段設置工事を請負で実施する。

◇勝連城跡整備委員会及び現地指導

- ①平成24年8月23日（うるま市民芸術劇場リハーサル室）
- ②平成24年11月20日（うるま市民芸術劇場リハーサル室）

i) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等登録記念物歴史の道保存整備事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：33,033,074円（国26,400,000円、県825,000円、村5,808,074円）

事業内容：○外郭城壁等の修理工事を業者請負で実施した。

○カーザフ地区・大庭地区・御内原地区の遺構発掘調査を村直営で実施した。

○外郭城壁等の修理の測量設計を業者請負で実施した。

◇今帰仁城跡整備委員会及び現地指導

- ①平成24年7月31日（今帰仁村歴史文化センター 談話室）
- ②平成25年1月23日（今帰仁城跡附シイナ城跡）

j) 事業名：「ハンタ道」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：中城村

事業経費：22,514,957円（国18,000,000円、県562,000円、村3,952,957円）

事業内容：○平成25年度整備工事予定の歴史の道沿道文化財「ペリーの旗立岩」及び「ノロ墓」について、工事によって改変を受ける箇所の記録保存のため、発掘調査を実施した。

○平成25年度整備箇所の実施設計、周辺の地形測量及びボーリング地質調査を委託で実施した。

○歴史の道沿道文化財である「ペリーの旗立岩」の記録保存及び整備の際の基礎資料とするためのレーザー測量を委託で実施した。また測量作業及び旗立岩の保全に支障となる雑草雑木等の伐採作業を、併せて委託で実施した。

k) 事業名：「識名園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：那覇市

事業経費：15,464,940円（国12,370,000円、県385,000円、市2,709,940円）

事業内容：○落雷によって焼損した屋外消火栓設備の更新、避雷器の装置、受信機へのポンプ運転表示、呼水槽減水警報表示の設置工事を工事請負で実施した。

○園内説明版、及び案内板の設置、改修工事を工事請負で実施した。

○平成25年度以降の修理、平成26年度予定の御殿屋根修復工事のため、手作り瓦製作業務を委託で実施した。

ウ) 史跡等保存管理計画策定事業

a) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：4,000,670円（国3,200,000円、県120,000円、村680,670円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を2回実施した。

○保存管理及び現状変更等の許可基準の検討を業者請負にて実施した。

○史跡内における管理、現状変更許可等の整備計画の検討を策定委員を招聘し実施した。

○保存管理計画書を刊行した。

◇今帰仁城跡附シイナ城跡保存管理計画策定委員会

①平成24年8月1日（今帰仁歴史文化センター 談話室）

②平成24年12月14日（今帰仁歴史文化センター 談話室）

b) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：西原町

事業経費：5,968,100円（国4,774,000円、町1,194,100円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を3回実施した。

○崩落の危険性がある東江御殿石牆の測量を業者委託で実施した。

○樹木種確認調査、樹齢推定調査を実施した。

◇内間御殿保存管理計画策定委員会

①平成24年8月3日（西原町立図書館）

②平成24年11月2日（西原町立図書館）

③平成25年2月22日（西原町立図書館）

- c) 事業名：史跡「島添大里城跡」史跡等保存管理計画策定事業
事業主体：南城市
事業経費：2,701,281円（国2,160,000円、町541,281円）
事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を2回実施した。
○保存管理計画書を策定し、報告書を刊行した。

◇島添大里城跡保存管理計画策定委員会

- ①平成24年12月26日（南城市大里庁舎3階）
②平成25年3月12日（南城市大里庁舎3階）

エ) 史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業

- a) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業
事業主体：糸満市
事業経費：18,005,684円（国14,400,000円、県486,000円、市3,119,684円）
事業内容：○城門部分の発掘調査、レーザー測量及びガイダンス等施設の詳細設計を業者委託で実施した。
○城跡中央部物見の郭の石積修復工事を工事請負で実施した。

◇具志川城跡整備委員会

- ①平成24年11月27日（糸満市サークル活動支援センター）

③県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

- a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業
事業主体：那覇市
事業経費：624,750円（県300,000円、市324,750円）
事業内容：○県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準じる工法、材質及び寸法等に倣って、修復を行った。なお、既存の石材が欠損等で使用できない場合は新規石材により補填を行った。
○石畳道の修繕は工事請負で実施した。
○平成24年度の石畳道の修繕はA=9.52㎡の範囲で行った。

- a) 事業名：県指定史跡「久里原貝塚」保存修理事業
事業主体：伊平屋村
事業経費：995,590円（県429,000円、村566,590円）
事業内容：○指定区域内の民有地一筆（449,00㎡）の買い上げを直接伊平屋村が実施した。

イ) 管理事業

- a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業
事業主体：南城市
事業経費：100,000円（県30,000円、市70,000円）
事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

- 1) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成24年5月18日付け24受庁財第4号の137）
今帰仁村による石垣修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 2) 史跡「円覚寺跡」の現状変更（平成24年5月18日付け24受庁財第4号の186）
那覇市による発掘調査及び石積復元を文化庁が許可。
- 3) 史跡「野国貝塚群」の現状変更（平成24年5月29日付け沖縄県教育委員会指令第16号）
在沖アメリカ軍第718施設中隊により行われる米軍関係者の福利厚生施設の増築に伴う工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 4) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成24年6月15日付け24受庁財第4号の331）
沖縄県立埋蔵文化財センターによる発掘調査を文化庁が許可。
- 5) 史跡「玉城城跡」の現状変更（平成24年6月15日付け24受庁財第4号の385）
南城市による石積修復及び伐採を文化庁が許可。
- 6) 史跡「糸数城跡」の現状変更（平成24年6月15日付け24受庁財第4号の362）
南城市による伐採及び発掘調査を文化庁が許可。
- 7) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成24年7月11日付け沖縄県教育委員会指令第25号）
沖縄県南部土木事務所が行う土質調査（簡易動的コーン貫入試験、ボーリング及び標準貫入試験）を沖縄県教育委員会が許可。
- 8) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成24年7月13日付け沖縄県教育委員会指令第27号）
沖縄県による一般県道146号線地滑り対策工事にかかるボーリング調査を沖縄県教育委員会が許可。
- 9) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成24年7月20日付け24受庁財第4号の457）
南城市による石積修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 10) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成24年7月20日付け24受庁財第4号の530）
独立行政法人都市再生機構九州支社による首里城奉神門の改修を文化庁が許可。
- 11) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成24年7月20日付け24受庁財第4号の762）
糸満市による石積修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 12) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成24年7月20日付け24受庁財第4号の763）
浦添市教育委員会による発掘調査及び仮設道設置を文化庁が許可。
- 13) 名勝「東平安名崎」の現状変更（平成24年7月20日付け24受庁財第4号の795）
独立行政法人国立環境研究所によるサンゴ生息環境調査を文化庁が許可。
- 14) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成24年7月30日付け24受庁財第4号の853）
沖縄県による落石防護柵及び網設置を文化庁が承認。
- 15) 県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（平成24年9月4日付け沖縄県教育委員会指令第30号）
個人による既設ブロック塀一部解体工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 16) 県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（平成24年9月19日付け沖縄県教育委員会指令第34号）
個人による既存の石積み擁壁の解体・復旧とコンクリート擁壁の築造を沖縄県教育委員会が許可。
- 17) 史跡「勝連城」の現状変更（平成24年9月21日付け24受庁財第4号の913）
うるま市による遺構確認を目的とした発掘調査を文化庁が許可。

- 18) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成24年9月21日付け24受庁財第4号の910）
久米島町教育委員会による発掘調査及び石積修復を文化庁が許可。
- 19) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成24年9月21日付け24受庁財第4号の1134）
沖縄県による環境調査を文化庁が許可。
- 20) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成24年10月10日付け沖縄県教育委員会指令第38号）
首里城祭実行委員会による火を灯したロウソク入りカップの設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 21) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成24年10月15日付け沖縄県教育委員会指令第40号）
首里振興会による琉球王朝祭り首里のフィナーレとして行われる花火大会に伴う「ナイアガラの滝」の仮足場や打揚花火台等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 22) 名勝「川平湾及び於茂登岳及び天然記念物米原のヤエヤマヤシ群落」の現状変更（平成24年10月19日付け24受庁財第4号の1268）
石垣市長による防護柵設置を文化庁が許可。
- 23) 名勝「東平安名崎」の現状変更（平成24年10月19日付け24受庁財第4号の1269）
東北大学大学院理学研究科による石材試料採取を文化庁が許可。
- 24) 名勝「東平安名崎」の現状変更（平成24年10月19日付け24受庁財第4号の1270）
宮古島市による保良漁港施設内における漁港休憩所及び駐車場設置工事を文化庁が許可。
- 25) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成24年11月16日付け24受庁財第4号の1462）
日本放送協会沖縄放送局によるアンテナ設備撤去を文化庁が許可。
- 26) 県指定名勝「万座毛」及び県指定天然記念物「万座毛石灰岩植物群落」の現状変更（平成24年11月16日付け沖縄県教育委員会指令第43号）
恩納村による植物保護エリアへの来観者一時立ち入り及び名勝説明板撤去を沖縄県教育委員会が許可。
- 27) 国史跡「フルスト原遺跡」の現状変更（平成25年1月18日付け24受庁財第4号の1803）
石垣市教育委員会による発掘調査等を文化庁が許可。
- 28) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成25年1月21日付け沖縄県教育委員会指令第4号）
読谷村による参道の階段手摺り設置と新たなスロープの整備を沖縄県教育委員会が許可。
- 29) 県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（平成25年1月24日付け沖縄県教育委員会指令第6号）
那覇市教育委員会による道修理を沖縄県教育委員会が許可。
- 30) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更の計画変更書（平成25年1月28日付け24受庁財第4号の1990）
沖縄県知事による環境調査の追加調査を文化庁が許可。
- 31) 史跡「野国貝塚群」の現状変更（平成25年3月12日付け沖縄県教育委員会指令第14号）
在沖アメリカ軍によるボートデッキ新設を沖縄県教育委員会が許可。
- 32) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成25年3月22日付け沖縄県教育委員会指令第17号）
今帰仁村長與那嶺幸人による樹木等の伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 33) 史跡「蔵元跡」の現状変更（平成25年3月22日付け沖縄県教育委員会指令第18号）
環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所による解説標識の設置を沖縄県教育委員会が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査 (国庫補助事業)

事業名：国指定天然記念物緊急調査 (キシノウエトカゲ)

事業目的：キシノウエトカゲの生息状況を調査し、具体的な保護策に向けての資料とする。

事業主体：沖縄県

事業総額：4,953千円 (国 3,961千円、県 992千円)

調査委員： 戸田 守 琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授
当山 昌直 沖縄県文化財課史料編集班主査
疋田 努 京都大学理学研究科動物学教室教授
木寺 法子 琉球大学理工学研究科博士研究員
栗田 和紀 京都大学大学院生
城間 恒宏 沖縄県教育庁文化財課指導主事
藤本 治彦 沖縄県立八重山商工高校教諭
田中 聡 沖縄県立首里東高等学校教諭
島村 賢正
久貝 勝盛
岡村 真希 環境省西表野生生物保護センター自然保護監
中村 智映 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
吉岡 由恵 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
笹井 隆秀 琉球大学理工学研究科大学院生
事務局： 徳里 政哉 県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 宮古、八重山地域

(2)調査項目

- a) 生息実態調査
- b) 生活史・習性に関する調査
- c) 遺伝的特性に関する調査
- d) 文献および聞き取り調査

②天然記念物緊急調査 (国庫補助事業)

事業名：国指定天然記念物緊急調査 (ケナガネズミ)

事業総額：1,300千円 (国 1,040千円、県 260千円)

事業主体：沖縄県

事業期間：平成24年4月10日～平成25年3月31日

(平成24年度～平成26年度までの3年間継続事業)

事業目的：沖縄本島北部に生息する国指定天然記念物ケナガネズミについて、生態や個体数など未だ不明な点が多いことから、今後具体的な保護策に寄与するためのデータ集積を目的とした緊急調査を実施する。

調査委員： 千木良芳範 沖縄県立博物館・美術館副館長
久高 将和
久高奈津子
知花 史尚 沖縄県立総合教育センター研究主事
村山 望 新星出版カメラマン

事業内容：(1)調査地 沖縄本島北部地域

(2)調査項目

- a) 生息実態調査
- b) 行動観察（繁殖行動、その他樹上での行動）

③天然記念物関連事業（県単独事業）

事業名：天然記念物指定対象物件調査

事業総額：91 千円（県 91 千円）

事業主体：沖縄県

事業目的：沖縄県内の天然記念物、ならびに今後指定し保護すべき貴重動物、植物群落及び地質鉱物などのうち保全上の課題を有すると考えられる物件について、現地調査を行い、これらを保護する上で必要な資料・情報を得る。

事業内容：(1)調査地 慶留間島、阿嘉島

(2)調査項目

- a) 保全上の課題を有する物件の現地調査
- b) 指定候補物件の現地調査

④天然記念物の現状変更等

1) 県指定天然記念物現状変更申請(H24. 4. 6、許可)

申請者(日付)：財団法人山階鳥類研究所理事長島津久永(H24. 3. 8)

内容(期間)：アマヤマシギの捕獲および足輪装着、血液採取(許可の日からH27. 3. 31)

許可：平成24年4月6日付け沖縄県教育委員会指令第13号

2) 国指定天然記念物の現状変更申請(H24. 4. 23、進達)

申請者(日付)：沖縄県教育委員会教育長大城浩(H24. 4. 23)

内容(期間)：キシノウエトカゲの卵及び幼体の標本作製(許可の日からH25. 3. 31)

許可：平成24年5月18日付け24受庁財第4号の191

3) 国指定天然記念物現状変更申請(H24. 5. 16、進達)

申請者(日付)：特定非営利活動法人海の自然史研究所代表理事藤田喜久(H24. 4. 10)

内容(期間)：オカヤドカリの生態調査及び採取(許可の日からH24. 11. 29)

許可：平成24年6月15日付け24受庁財第4号の325

4) 県指定天然記念物現状変更申請(H24. 5. 7、許可)

申請者(日付)：国立沖縄工業高等専門学校技術支援室渡邊謙太(H24. 4. 10)

内容(期間)：嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区内の植物調査(許可の日からH25. 3. 31)

許可：平成24年5月7日付け沖縄県教育委員会指令第14号

5) 国指定天然記念物現状変更申請(H24. 5. 16、進達)

申請者(日付)：株式会社沖縄環境分析センター代表取締役西銘史則(H24. 4. 10)

内容(期間)：「塩川」内における海藻・海草調査(許可の日からH24. 12. 20)

許可：平成24年6月15日付け24受庁財第4号の332

6) 国指定天然記念物現状変更申請(H24. 4. 20、許可)

申請者(日付)：琉球大学教育学部自然理学研究室尾方隆幸(H24. 2. 1)

内容(期間)：「塩川」内における地下水脈調査(許可の日からH25. 3. 31)

許可：平成24年4月20日付け23受庁財第4号の1976

7) 特別天然記念物現状変更申請(H24. 4. 20、許可)

申請者(日付)：財団法人山階鳥類研究所理事長島津久永(H24. 3. 8)

内容(期間)：カンムリワシ等の試料採取及び発信器装着(許可の日からH27. 3. 31まで)

許可：平成24年4月20日付け23受庁財第4号の2210

- 8) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24. 5. 24、許可)
申請者 (日付) : 日本放送協会沖縄放送局秦秀人 (H24. 5. 15)
内容 (期間) : 与那国島久部良岳天然保護区域内におけるアナログ放送設備の撤去 (許可の日から H24. 7. 30)
許可 : 平成 24 年 5 月 24 日付け沖縄県教育委員会指令第 15 号
- 9) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 5、許可)
申請者 (日付) : 与那国町教育委員会教育長崎原用能 (H24. 5. 31)
内容 (期間) : ヨナグニサンの飼育および標本作製 (許可の日から H27. 3. 31)
許可 : 平成 24 年 6 月 5 日付け沖縄県教育委員会指令第 19 号
- 10) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 5、許可)
申請者 (日付) : 海洋博記念公園管理財団参与西平守孝 (H24. 6. 1)
内容 (期間) : オカヤドカリ調査に伴う一時捕獲 (許可の日から H24. 6. 11 まで)
許可 : 平成 24 年 6 月 5 日付け沖縄県教育委員会指令第 18 号
- 11) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 5、許可)
申請者 (日付) : 名護自然動植物公園株式会社代表取締役社長比嘉茂 (H24. 3. 28)
内容 (期間) : リュウキュウヤマガメ、セマルハコガメのマイクロチップ装着
許可 : 平成 24 年 6 月 5 日付け沖縄県教育委員会指令第 20 号
- 12) 国指定天然記念物現状変更協議 (H24. 6. 14、進達)
協議者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長上原勇賢 (H24. 5. 11)
内容 (期間) : 工事に伴うオカヤドカリの一時捕獲及び移動 (同意の日から 1 年間)
同意 : 平成 24 年 7 月 20 日付け 24 受庁財第 4 号の 583
- 13) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 12、進達)
申請者 (日付) : 沖縄県立開邦高等学校長平良勉 (H24. 5. 29)
内容 (期間) : オカヤドカリの捕獲及び飼育 (許可の日から H25. 3. 31)
許可 : 平成 24 年 7 月 20 日付け 24 受庁財第 4 号の 553
- 14) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 7、許可)
申請者 (日付) : 沖縄県立博物館・美術館長白保台一 (H24. 6. 4)
内容 (期間) : ヨナグニサンの標本作製 (許可の日から H25. 3. 31)
許可 : 平成 24 年 6 月 7 日付け沖縄県教育委員会指令第 21 号
- 15) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 14、進達)
申請者 (日付) : 名護市教育委員会教育長座間味法子 (H24. 6. 5)
内容 (期間) : ひんぷんガジュマルの倒木対策にかかる支柱設置 (許可の日から H25. 3. 29)
許可 : 平成 24 年 7 月 20 日付け 24 受庁財第 4 号の 568
- 16) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 15、許可)
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (H24. 5. 11)
内容 (期間) : イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (恩納村) (許可の日から 1 年間)
許可 : 平成 24 年 6 月 15 日付け沖縄県教育委員会指令第 22 号
- 17) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 25、許可)
申請者 (日付) : 沖縄セルラー電話株式会社代表取締役社長北川洋 (H24. 6. 13)
内容 (期間) : 与那国島宇良部岳ヨナグニサン生息地内における携帯電話アンテナ設置 (許可日から平成 24 年 9 月 30 日まで)
許可 : 平成 24 年 6 月 25 日付け沖縄県教育委員会指令第 23 号
- 18) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24. 6. 27、進達)

- 申請者（日付）：琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授戸田守（H24. 6. 27）
内容（期間）：キシノウエトカゲの生態調査に伴う一時捕獲・飼育（許可日からH26. 3. 31）
許可：平成24年7月20日付け24受庁財第4号の761
- 19) 天然記念物現状変更申請（H24. 6. 27、許可）
申請者（日付）：いであ株式会社沖縄支社長西田弘之（H24. 6. 8）
内容（期間）：オカヤドカリの生息状況調査に伴う一時捕獲（許可日からH24. 12. 31）
許可：平成24年6月27日付け沖縄県教育委員会指令第23号
- 20) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 7. 6、進達）
申請者（日付）：沖縄市立郷土博物館長廣山實（H24. 6. 20）
内容（期間）：オカヤドカリの捕獲及び展示（許可日からH24. 12. 20）
許可：平成24年9月21日付け24受庁財第4号の852
- 21) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 7. 24、許可）
申請者（日付）：株式会社ホープ設計代表取締役高嶺哲夫（H24. 7. 10）
内容（期間）：オカヤドカリの生息状況調査に伴う一時捕獲（許可日からH24. 9. 30）
許可：平成24年7月24日付け沖縄県教育委員会指令第28号
- 22) 国指定天然記念物現状変更協議（H24. 7. 31、進達）
協議者（日付）：九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長（H24. 6. 25）
内容（期間）：米原のヤエヤマヤシ群落内におけるイシガキニイニイ調査（同意の日からH27. 3. 31）
同意：平成24年9月21日付け24受庁財第4号の943
- 23) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 7. 31、許可）
申請者（日付）：株式会社南西環境研究所代表取締役田中順一（H24. 6. 25）
内容（期間）：セマルハコガメ、キシノウエトカゲ、オカヤドカリの生息状況調査（許可の日からH25. 2. 28）
許可：平成24年7月31日付け沖縄県教育委員会指令第29号
- 24) 国指定天然記念物現状変更協議（H24. 8. 14、進達）
協議者（日付）：沖縄防衛局長（H24. 7. 27）
内容（期間）：オカヤドカリの生息状況調査に伴う一時捕獲（同意日からH24. 11. 30）
同意：平成24年9月21日付け24受庁財第4号の1005
- 25) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 8. 14、進達）
申請者（日付）：琉球大学理学部海洋自然科学科教授伊澤雅子（H24. 8. 7）
内容（期間）：オカヤドカリ生態調査及び捕獲（許可日からH27年8月31日）
許可：平成24年9月21日付け24受庁財第4号の1006
- 26) 国指定天然記念物現状変更協議（H24. 8. 21、進達）
協議者（日付）：沖縄森林管理署長佐藤隆幸（H24. 7. 19）
内容（期間）：船浦のニッパヤシ林内における調査機器の設置（同意の日から6ヶ月）
同意：平成24年9月21日付け24受庁財第4号の1024
- 27) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 9. 7、許可）
申請者（日付）：株式会社パスコ沖縄支店長藤田淳一（H24. 8. 30）
内容（期間）：オカヤドカリの生息状況調査に伴う一時捕獲（許可日からH25. 1. 20）
許可：平成24年9月7日付け沖縄県教育委員会指令第33号
- 28) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 9. 25、進達）
申請者（日付）：石垣市長中山義隆（H24. 9. 25）
内容（期間）：荒川のカンヒザクラ自生地内における配水管設置（許可の日からH25. 3. 31）

- 許可：平成24年10月19日付け24受庁財第4号の1339
- 29) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24.9.25、進達)
申請者(日付)：アージ研究会代表河内紀治 (H24.9.4)
内容(期間)：トゲネズミの生息状況調査にかかる一時捕獲(許可日から1年間)
許可：平成24年10月19日付け24受庁財第4号の1338
- 30) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24.9.19、許可)
申請者(日付)：有限会社上原建設代表取締役上原栄仁 (H24.8.23)
内容(期間)：仲間川天然保護区域内における木道の補強工事(許可日からH24.9.30)
許可：平成24年9月19日付け沖縄県教育委員会指令第36号
- 31) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24.10.10、許可)
申請者(日付)：特定非営利活動法人海の自然史研究所代表理事藤田喜久 (H24.9.1)
内容(期間)：ミヤコサワガニ生息状況調査に伴う一時捕獲、標本作製(許可日からH25.9.30)
許可：平成24年10月10日付け沖縄県教育委員会指令第23号
- 32) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24.10.22、許可)
申請者(日付)：一般財団法人沖縄県環境科学センター代表理事福村圭介 (H24.9.28)
内容(期間)：オカヤドカリの生息状況調査に伴う一時捕獲(許可の日からH25.3.30)
許可：平成24年10月22日付け沖縄県教育委員会指令第41号
- 33) 国指定天然記念物現状変更協議 (H24.10.26、進達)
協議者(日付)：九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長 (H24.10.18)
内容(期間)：ノグチゲラ保護増殖事業にかかる一時捕獲、血液採取(同意日からH27.3.31)
同意：平成24年11月16日付け24受庁財第4号の1584
- 34) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24.11.6、許可)
申請者(日付)：バンナ公園管理事務所長大濱末美 (H24.10.19)
内容(期間)：ヨナグニサンの展示にかかる幼虫の飼育と標本化(許可の日からH25.9.30)
許可：平成24年11月6日付け沖縄県教育委員会指令第42号
- 35) 国指定天然記念物の毀損届について (H24.11.21、進達)
届出者(日付)：那覇市教育委員会教育長城間幹子 (H24.11.15)
内容(期間)：首里金城の大アカギ1本の倒木にかかる毀損届け提出
- 36) 県指定天然記念物現状変更申請 (H24.11.29、許可)
申請者(日付)：沖縄県知事仲井眞弘多 (H24.11.26)
内容(期間)：粟国村字西の御願の植物群落(許可日からH24.12.31)
許可：平成24年11月29日付け沖縄県教育委員会指令第46号
- 37) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24.12.13、進達)
申請者(日付)：沖縄県土木建築部中部土木事務所長仲村佳輝 (H24.11.28)
内容(期間)：オカヤドカリ生態調査及び捕獲(許可日から3年間)
許可：平成25年1月18日付け24受庁財第4号の1836
- 38) 国指定天然記念物現状変更協議 (H24.12.26、進達)
協議者(日付)：九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長 (H24.12.12)
内容(期間)：米原のヤエヤマヤシ群落内の遊歩道整備(同意の日からH25.3.31)
同意：平成25年1月18日付け24受庁財第4号の1947
- 39) 国指定天然記念物現状変更申請 (H24.12.28、許可)
申請者(日付)：石垣市長中山義隆 (H24.11.20)

- 内容（期間）：米原のヤエヤマヤシ群落内遊歩道の撤去（許可日から H25. 3. 31）
許可：平成 24 年 11 月 29 日付け沖縄県教育委員会指令第 48 号
- 40) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 1. 15、許可）
申請者（日付）：沖縄総合事務局北部国道事務所長（H24. 12. 27）
内容（期間）：イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動（許可日から H2. 3. 31）
許可：平成 25 年 1 月 15 日付け沖縄県教育委員会指令第 2 号
- 41) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 1. 17、許可）
申請者（日付）：株式会社クレアリア沖縄支店長国平好明（H25. 1. 17）
内容（期間）：イボイモリの捕獲及び移動（許可日から H25. 5. 31）
許可：平成 25 年 1 月 17 日付け沖縄県教育委員会指令第 5 号
- 42) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 1. 17、進達）
申請者（日付）：沖縄オカヤドカリ取扱商組合長新垣昭（H25. 1. 10）
内容（期間）：販売を目的としたオカヤドカリの捕獲（許可日から H25. 9. 30）
許可：平成 25 年 2 月 27 日付け 24 受庁財第 4 号の 2028
- 43) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 2. 4、許可）
申請者（日付）：金沢大学自然システム学系生物 植田邦彦（H25. 1. 11）
内容（期間）：万座毛石灰岩植物群落内における植物採集（許可日から H25. 3. 31）
許可：平成 25 年 2 月 4 日付け沖縄県教育委員会指令第 8 号
- 44) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 2. 7、許可）
申請者（日付）：沖縄総合事務局北部国道事務所長（H25. 1. 28）
内容（期間）：護岸改修に伴う喜如嘉板敷海岸の板干瀬の一部掘削（許可日から H27. 3. 31）
許可：平成 25 年 2 月 7 日付け沖縄県教育委員会指令第 10 号
- 45) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 3. 13、進達）
申請者（日付）：琉球大学教育学部自然理学研究室尾方隆幸（H25. 2. 27）
内容（期間）：塩川の水脈調査（許可日から H26. 3. 31）
- 46) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 3. 26、進達）
申請者（日付）：国立情報学研究所特任研究員園田耕平（H25. 3. 1）
内容（期間）：オカヤドカリ生態調査及び飼育（許可日から H28. 3. 31）
- 47) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 3. 26、進達）
申請者（日付）：琉球大学理学部海洋自然科学科生物系竹村明洋（H25. 2. 28）
内容（期間）：オカヤドカリ生態調査及び飼育（許可日から H26. 2. 28）
- 48) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 3. 26、進達）
申請者（日付）：独立行政法人森林総合研究所林木育種センター所長井上達也（H25. 2. 4）
内容（期間）：平久保のヤエヤマシタン、古見のサキシマスオウノキ群落における枝の採取（許可日から H26. 3. 31）
- 49) 国指定天然記念物現状変更協議（H25. 3. 28、進達）
協議者（日付）：林野庁沖縄森林管理署長佐藤隆幸（H25. 2. 15）
内容（期間）：船浦のニッパヤシ群落内における調査機器の設置（同意日から 3 年間）
- 50) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 3. 18、許可）
申請者（日付）：琉球大学農学部教授辻瑞樹（H25. 2. 20）
内容（期間）：フタオチョウの生態調査及び飼育（許可日から H27. 3. 31）
許可：平成 25 年 3 月 18 日付け沖縄県教育委員会指令第 19 号

5. 埋蔵文化財

(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下段）	回答内容（所在文化財）
				該当なし

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	翁長原遺物散布地（B地点）	豊見城市	個人	住宅	工事立会
2	大嶽城跡	宮古島市	航空自衛隊宮古島分屯基地	事務所建設等	慎重工事
3	城間東空寿古墓群	浦添市	沖縄県	道路	発掘調査
4	宇地泊東原遺跡	宜野湾市	個人	店舗	慎重工事
5	真喜屋阿社義遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
6	金良原遺物散布地	豊見城市	個人	共同住宅	慎重工事
7	高嶺溝原古墓群	豊見城市	豊見城市	緑地整備	慎重工事
8	大嶽城跡	宮古島市	航空自衛隊宮古島分屯基地	管理設	慎重工事
9	アパヌク貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
10	翁長遺物散布地（A地点・B地点・C地点）	豊見城市	豊見城市	水道工事	慎重工事
11	溝原貝塚	名護市	個人	住宅	工事立会
12	高安古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	慎重工事
13	我那覇後原遺物散布地	豊見城市	沖縄県土木建築部南部土木事務所	法面工事	慎重工事
14	高安原古墓群	豊見城市	個人	墓建立	慎重工事
15	喜友名後原遺跡	宜野湾市	個人	共同住宅	発掘調査
16	真喜屋阿社義遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
17	東村跡	那覇市	株式会社NIIPPO九州開発統括事業所	マンション建設	発掘調査
18	我那覇後原遺物散布地	豊見城市	沖縄県土木建築部南部土木事務所	急傾斜地崩壊対策工事	慎重工事
19	公方原遺物散布地	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
20	名嘉地原遺物散布地	豊見城市	株式会社デネブ	共同住宅	工事立会
21	大謝名世持留遺跡	宜野湾市	個人	共同住宅	発掘調査
22	ナガラ原第三貝塚、ナガラ原東貝塚、カヤ原遺跡A地点	伊江村	沖縄県知事	農業関連 浸透池	発掘調査

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
23	嘉数内城原第二遺跡	宜野湾市	個人	個人住宅	発掘調査
24	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
25	大堂原西遺跡	名護市	個人	共同住宅	工事立会
26	友利元島遺跡	宮古島市	有限会社秀友	宿泊施設兼住宅	発掘調査
27	伊良波先祖原遺物散布地A地点	豊見城市	個人	店舗	慎重工事
28	我那覇後原遺物散布地、名嘉地原遺物散布地	豊見城市	豊見城市	下水道	工事立会
29	西村跡	那覇市	個人	共同住宅	工事立会
30	護岸の銃座	うるま市	沖縄県中部土木事務所	護岸改修工事	発掘調査
31	溝原貝塚	名護市	名護市	道路改築工事	発掘調査
32	真喜屋阿社義遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
33	我那覇後原遺物散布地	豊見城市	個人	個人住宅	慎重工事
34	喜友名後原遺跡	宜野湾市	個人	共同住宅	慎重工事
35	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	共同住宅	慎重工事
36	前兼久貝塚、富着アンジャ原海岸遺物散布地	恩納村	沖縄総合事務局北部 国道事務所	電線共同溝工事	工事立会
37	首里鳥小堀村跡	那覇市	個人	住宅	発掘調査
38	喜友名前原第一遺跡	宜野湾市	個人	住宅	発掘調査
39	クランモー	北谷町	沖縄総合事務局南部 国道事務所	道路	発掘調査
40	仲村渠殿遺跡	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
41	嘉数内城原第二遺跡	宜野湾市	個人	住宅	発掘調査
42	上地カナイダ遺跡	宮古島市	個人	個人住宅	慎重工事
43	億首川流域古墓群	金武町	沖縄総合事務局北部 国道事務所	道路	発掘調査

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	宮古島市城辺字長間	長南岩陰墓・長南避難壕群	宮古農林水産振興センター所長	農業基盤整備	発掘調査
2	那覇市安里	安里羽佐間原古墓群	那覇市長	公園整備	発掘調査
3	宮古島市平良字下里	地盛南岩陰墓、地盛南の壕跡	宮古農林水産振興センター所長	農業基盤整備	発掘調査
4	那覇市字鏡水土砂場原	鏡水土砂場原C遺跡	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊長	施設建設	現状維持

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	首里城跡淑順門西・ 奉神門埋甕地区	H24. 3. 27	沖縄県教育委員 会教育長	国土交通省	陶磁器、土器、獣骨、貝 {168箱}	県立埋蔵文 化財セン ター
2	平得宇部御嶽遺跡	H24. 2. 24	石垣市教育委員 会教育長	石垣市長	土器片、陶磁器片、貝製 品、骨製品、鉄製品、石 器、自然遺物など {50箱}	石垣市教委
3	フェンサグスク貝塚	H24. 2. 29	札幌大学文化学 部教授 高宮広土	個人	土器、石器、陶磁器、貝製 品、貝片、骨等 {7箱}	糸満市教委
4	糸数城跡	H24. 3. 8	南城市教育委員 会教育長	南城市長	土器、類須恵器、陶磁器、 瓦、獣骨等 {1箱}	南城市教委
5	安良村跡	H24. 4. 1	日本学術振興会 特別会員PD 石井龍太	個人	陶磁器、鉄製品、ガラス 瓶、貝、動物骨 {2箱}	東京大学総 合研究博物 館
6	具志川城跡	H24. 2. 29	糸満市教育委員 会教育長	糸満市長	陶磁器 {1箱}	糸満市教委
7	湧田村跡	H24. 3. 30	那覇市教育委員 会教育長	那覇市長	灰色瓦 {ユニパック1袋}	那覇市教委
8	南山城跡	H24. 3. 9	糸満市教育委員 会教育長	糸満市長	土器、陶磁器、瓦、貝片、 骨片、戦時遺物 {3箱}	糸満市教委
9	玉城城跡	H24. 3. 28	南城市教育委員 会教育長	南城市長	土器、類須恵器、陶磁器、 獣骨 {1箱}	南城市教委
10	島添大里グスク南遺 跡	H24. 3. 28	南城市教育委員 会教育長	南城市長	陶磁器、土器、鉄片、自然 遺物 {30箱}	南城市教委
11	知念城跡	H24. 3. 29	南城市教育委員 会教育長	南城市長	瓦破片、陶磁器、土器、自 然遺物 {30箱}	南城市教委
12	越来グスク	H24. 3. 26	沖縄市教育委員 会教育長	個人	土器片、陶磁器片、石器 {30箱}	沖縄市教委
13	今帰仁城跡	H24. 3. 30	今帰仁村教育委員 会教育長	今帰仁村長	陶磁器片、ガラス製ビー ズ、古銭、金属製品、自然 遺物 {15箱}	今帰仁村教 委
14	運天古墓	H24. 3. 30	今帰仁村教育委員 会教育長	今帰仁村長	陶磁器片 (厨子甕) {64 箱}	今帰仁村教 委
15	平安山原A遺跡	H24. 1. 31	北谷町教育委員 会教育長	北谷町長	土器、陶磁器類 (中国産陶磁 器、沖縄産陶器、本土産磁 器)、石器、貝、獣骨、その他 {170箱}	北谷町教委
16	具志川城跡	H24. 3. 30	久米島町教育委員 会教育長	久米島町長	中国陶磁器 (青磁片)、褐釉 陶器、白磁、自然遺物 (魚骨 ほか)、鉄釘 {1箱}	久米島町教 委
17	桃原貝塚	H24. 2. 29	うるま市教育委員 会教育長	うるま市長	土器、石器、貝製品、自然 遺物 (貝殻、骨、礫等) {23箱}	うるま市教 委
18	勝連城跡	H23. 11. 30	うるま市教育委員 会教育長	うるま市長	陶磁器 (中国産陶磁器、沖縄産 陶磁器ほか)、土器、瓦、石 器、鉄製品、自然遺物 (貝殻、 獣魚骨等) {20箱}	うるま市教 委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
19	長南岩陰墓・長南避難壕群	H24. 5. 18	宮古島市教育委員会教育長	個人	沖縄産陶器、ジーファー、釘、薬瓶 {2箱}	宮古島市教委
20	志多伯遺跡	H24. 5. 25	八重瀬町教育委員会教育長	八重瀬町長	陶磁器類(中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか)、土器、石器、鉄製品、自然遺物(獣骨・貝殻等) {2箱}	八重瀬町教委
21	宮国元島上方古墓群	H24. 7. 27	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	人骨、陶磁器、金属製品、ガラス製品、自然遺物 {5箱}	県立埋蔵文化財センター
22	船越原遺跡	H24. 8. 17	沖縄県教育委員会教育長	渡嘉敷村長	土器、石 {1箱}	県立埋蔵文化財センター
23	尻並第2遺跡	H24. 7. 22	宮古島市教育委員会教育長	宮古毎日新聞社	土器、中国産陶磁器(青磁・白磁・褐釉陶器)、獣骨、貝類 {7箱}	宮古島市教委
24	名護貝塚	H24. 8. 2	名護市教育委員会教育長	株式会社建全	土器21点、陶磁器16点、瓦1点	名護市教委
25	カヤウチバンタ遺跡	H24. 8. 19	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授 上原静	(株)南都大石 林山	土器片、石器・石材片、骨角器、貝製品、貝殻片、魚骨片、獣骨片 {1箱}	沖縄国際大学
26	円覚寺跡	H24. 9. 28	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器、漆製品、瓦、磚、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝類など {23箱}	県立埋蔵文化財センター
27	溝原貝塚	H24. 9. 14	名護教育委員会教育長	名護市長	土器13点、陶磁器60点、瓦17点、煙管1点	名護市教委
28	首里平良橋周辺遺跡	H24. 10. 15	那覇市教育委員会教育長	沖縄県知事	中国産陶磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶器、銭貨、獣骨 {18箱}	那覇市教委
29	大謝名世持留遺跡	H24. 10. 31	宜野湾市教育委員会教育長	個人	青磁、本土産陶磁器、沖縄産陶器、貝、獣骨片など {10箱}	宜野湾市教委
30	嘉数内城原第二遺跡	H24. 11. 16	宜野湾市教育委員会教育長	個人	陶磁器など {1箱}	宜野湾市教委
31	喜友名後原遺跡	H24. 10. 14	宜野湾市教育委員会教育長	個人	縄文土器、石器、青磁など {4箱}	宜野湾市教委
32	東村跡	H24. 11. 30	那覇市教育委員会教育長	株式会社NIPPON九州開発統括事業所	中国産陶磁器、沖縄産陶器など {50箱}	那覇市教委
33	中城城跡	H24. 11. 30	中城村教育委員会教育長	中城村長	陶磁器類(中国産・沖縄産陶磁器等)、土器、石器、金属製品、自然遺物(貝殻・獣魚骨等) {50箱}	中城村教委
34	宜野座又古島遺跡	H23. 10. 31	宜野座村教育委員会教育長	宜野座区長	土器、青磁、石製品 {1箱}	宜野座村教委
35	クジチ原西遺跡	H24. 1. 31	宜野座村教育委員会教育長	個人	土器、沖縄産陶器、本土産陶器、瓦・石器、チャート片、貝製品、金属製品等 {1箱}	宜野座村教委
36	前田・経塚近世墓群	H24. 1. 25	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	・蔵骨器7基 ・蔵骨器片、陶磁器、人骨など {40箱}	浦添市教委

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
37	中城御殿跡	H24. 9. 28	沖縄県教育委員会 会教育長	沖縄県知事	陶磁器、漆製品、瓦、磚、 金属製品、銭貨、獣魚骨、 貝類など {23箱}	県立埋蔵文化財センター
38	台グスク遺跡、小那覇 屋取散布地、平田原散布 地、永田原A散布地	H25. 1. 18	中城村教育委員会 会教育長	沖縄県知事	外国産陶磁器、国内産陶磁 器、鉄製品、獣骨、貝殻遺 骸 {10箱}	中城村教委
39	安田遺跡	H24. 8. 31	国頭村教育委員会 会教育長	安田区、個人	土器、石器、貝製品、貝、 獣魚骨、陶磁器類 {11箱}	国頭村教委
40	知念城跡	H24. 1. 31	南城市教育委員会 会教育長	南城市長	瓦破片、陶磁器、土器、自 然遺物等 {11箱}	南城市教委
41	ナイクブ古墓群	H25. 1. 31	那覇市教育委員会 会教育長	那覇市長	厨子甕及び陶磁器破片等 (厨子甕完形品27点) {105 箱}	那覇市教委
42	喜友名後原遺跡	H25. 1. 30	宜野湾市教育委員会 会教育長	個人	縄文土器、石器、人骨など {18箱}	宜野湾市教委
43	城岳古墓群	H25. 2	那覇市教育委員会 会教育長	那覇市長	ガラス瓶等 {1箱}	那覇市教委
44	白保竿根田原洞穴遺 跡	H25. 3. 6	沖縄県教育委員会 会教育長	沖縄県知事	陶磁器、土器、石器、人骨、 獣骨、貝類 {5箱}	県立埋蔵文化財センター
45	安里羽佐間原古墓群	H25. 1	那覇市教育委員会 会教育長	那覇市長	人骨、陶磁器破片等 {12箱}	那覇市教委
46	首里鳥小堀村跡	H25. 3. 1	那覇市教育委員会 会教育長	個人	中国産青花、本土産磁器、沖 縄産陶器、本土産近代磁器、 瓦、レンガ、獣骨、銭貨、木 製品(下駄)など {70箱}	那覇市教委
47	今帰仁城跡附シイナ 城跡	H25. 3. 1	今帰仁村教育委員会 会教育長	今帰仁村長	陶磁器片、ガラス製ビー ズ、古銭、装飾品、自然遺 物 {9箱}	今帰仁村教委
48	運天古墓群	H25. 3. 1	今帰仁村教育委員会 会教育長	今帰仁村長	陶磁器片(厨子甕他)、石 製品、木製品(家型木製墓 2棟)、自然遺物 {1箱}	今帰仁村教委
49	歴史の道(ハンタ 道)	H25. 3. 1	中城村教育委員会 会教育長	沖縄県知事、 中城村長	土器片、外国産陶磁器、国内 産陶磁器、鉄製品、獣骨、貝 殻遺骸、石製品 {10箱}	中城村教委
50	西村跡	H25. 1. 25	那覇市教育委員会 会教育長	個人	中国産陶磁器など {30箱}	那覇市教委
51	首里金城村跡	H24. 12. 18	那覇市教育委員会 会教育長	那覇市長	沖縄産陶器など {11箱}	那覇市教委

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財	保管場所
	該当なし					

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目No.	遺跡名	所在市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格及び遺構等
1	カヤウチバンタ遺跡	国頭村	沖縄国際大学 教授 上原 静	学術研究	縄文・貝塚
2	南嶺の長墓	宮古島市	西九州大学 教授 マーク・ハドソン	学術研究	先島先史・貝塚
3	網取遺跡	竹富町	東海大学 主任教授 北條 芳隆	学術研究	近世・集落跡

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目No.	遺跡名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
1	宮国元島上方古墓群	宮古島市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠	道路建設	近現代・墓
2	伊礼原遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	山城安生	区画整理	グスク・集落跡
3	志多伯遺跡	八重瀬町	八重瀬町教育委員会	金城達	道路造成工事	グスク・集落跡
4	長南岩陰墓・長南避難壕群	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	農業基盤整備	近世、近代・墓、戦跡
5	ウガンヒラー南方遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	基地施設建設	グスク・集落跡
6	船越原遺跡	渡嘉敷村	県立埋蔵文化財センター	瀬戸哲也	保存目的による範囲内容確認調査	縄文・集落跡
7	首里平良橋周辺遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	街路改良工事	近世・交通遺跡
8	安田遺跡	国頭村	国頭村教育委員会	赤嶺信哉	保存目的による範囲内容確認調査	弥生・貝塚
9	名護貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	駐車場工事	弥生・貝塚
10	サキタリ洞遺跡	南城市	県立博物館・美術館	山崎真治	学術調査	縄文・散布地
11	喜友名後原遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	共同住宅建設	縄文・生産遺跡
12	普天間古集落遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	知念隆博 金城貴子 具志堅清大	病院建設	近世・集落跡
13	安里羽佐間原古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	當銘由嗣	公園整備	近世・墓
14	前田・経塚近世墓群 (前田東前田原地区)	浦添市	浦添市教育委員会	安斎英介	区画整理	近世・墓
15	前田・経塚近世墓群 (前田真知堂地区)	浦添市	浦添市教育委員会	瑞慶覧長順	区画整理	近世・墓
16	溝原貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路建設	弥生・貝塚
17	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠	保存目的による範囲内容確認調査	近世・御殿跡
18	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖	公園造成	近世・墓
19	首里金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	樋口麻子	細街路整備	近世・集落跡
20	東村跡	那覇市	那覇市教育委員会	玉城安明	住宅建設	グスク・集落跡

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
21	大湾アガリヌウガン 遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・集 落跡
22	大謝名世持留遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	森田直哉	住宅建設	近世・集落 跡
23	安波茶樋川	浦添市	浦添市教育委員会	仁王浩司	遺跡整備	近世・井泉
24	喜友名後原遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	共同住宅建設	近世・墓
25	前田・経塚近世墓群 (経塚南小島原地区)	浦添市	浦添市教育委員会	瑞慶覧長順	区画整理	近世・墓
26	城岳古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	當銘由嗣	公園整備	近世・墓
27	大山加良当原第四 遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	大堀皓平	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・生 産遺跡
28	白保竿根田原洞穴 遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	仲座久宜	保存目的による範囲内容確認調査	旧石器・洞 穴遺跡
29	喜友名前原第一遺 跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	共同住宅建設	グスク・集 落跡
30	首里鳥小堀村跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	住宅建設	近世・集落 跡
31	城間東空寿古墓群	浦添市	浦添市教育委員会	仲宗根久里子	道路建設	近世・墓
32	大堂浜遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	その他の建物（交流会館） 建設	縄文・散布 地
33	森根石根原遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	縄田雅重	建物建設に伴う試掘（新規 発見）	弥生・散布 地
34	サキタリ洞遺跡	南城市	県立博物館・美術館	山崎真治	学術研究に伴う試掘（新規 発見）	縄文・散布 地
35	湧田村跡	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖 仲宗根啓	工事に伴う確認調査（範囲 等変更）	中世・集落 跡
36	喜友名後原遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	建物建設に伴う試掘（新規 発見）	縄文・不明
37	大謝名世持留遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	森田直哉	建物建設に伴う試掘（新規 発見）	グスク・集 落跡
38	ブサシ遺跡	竹富町	竹富町教育委員会	仲盛敦	保存目的による範囲内容確認 調査（新規発見）	グスク・グ スク
39	尻並第2遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	久貝弥嗣	建物建設に伴う試掘（新規 発見）	グスク・集 落跡
40	首里鳥小堀村跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	建物建設に伴う試掘（新規 発見）	近世・集落 跡
41	クジチ原西遺跡	宜野座村	宜野座村教育委員会	田里一寿	建物建設に伴う試掘（新規 発見）	縄文・散布 地
42	楚辺1丁目の壕(城 岳の壕)	那覇市	那覇市教育委員会	當銘由嗣	公園整備事業に伴う確認調 査（範囲等変更）	近代・戦争 遺跡

(8) 埋蔵文化財発掘調査・分布調査事業一覧（文化財保護担当部局予算計上）

（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源 (%)
1	首里鳥小堀村ほか2遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	発掘調査 資料整理	6,085	国80、県3.4、 市16.6
2	越来グスクほか1遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	資料整理	145	国80、県3.4、 市16.6
3	ミスズマ遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	発掘調査 資料整理	191	国80、県3.4、 市16.6
4	知名原遺跡	南城市	南城市教育委員会	資料整理	1,205	国80、市20

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
5	大山加良当原第四遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	44,430	国80、県20
6	船越原遺跡	渡嘉敷村	県立埋蔵文化財センター	確認調査	5,942	国80、県20
7	戦争遺跡(平敷屋砲台跡ほか)	うるま市ほか	県立埋蔵文化財センター	確認調査	6,848	国80、県20
8	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	確認調査	12,075	国80、県20
9	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	確認調査	14,632	国80、県20
10	普天間飛行場内遺跡ほか5遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	発掘調査 資料整理	79,000	国80、市20
11	南山城跡	糸満市	糸満市教育委員会	確認調査	6,004	国80、県3.4、市16.6
12	佐敷グスク遺跡群	南城市	南城市教育委員会	資料整理	9,878	国80、市20
13	安田遺跡ほか	国頭村	国頭村教育委員会	確認調査	3,000	国80、県3.4、村16.6
14	運天古墓群	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	確認調査 資料整理	3,042	国80、県3.4、村16.6
15	台グスク遺跡	中城村	中城村教育委員会	確認調査 資料整理	5,004	国80、県3.4、村16.6
16	円覚寺跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	発掘調査 資料整理	5,499	国80、県20
17	フルスト原遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	発掘調査 資料整理	1,754	国80、県2.5、市17.5
18	浦添城跡	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査 資料整理	19,636	国80、県2.5、村17.5
19	具志川城跡	糸満市	糸満市教育委員会	発掘調査 資料整理	18,006	国80、県2.7、村17.3
20	勝連城跡	うるま市	うるま市教育委員会	発掘調査 資料整理	7,226	国80、県2.5、村17.5
21	糸数城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査 資料整理	10,392	国80、市20
22	玉城城跡	南城市	南城市教育委員会	資料整理	1,766	国80、市20
23	知念城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査	1,120	国80、市20
24	今帰仁城跡附シイナ城跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	発掘調査 資料整理	18,493	国80、県2.5、市17.5
25	中城城跡	中城村	中城村教育委員会	発掘調査 資料整理	18,367	国80、県2.5、市17.5
26	歴史の道	中城村	中城村教育委員会	発掘調査	7,182	国80、県2.5、市17.5
27	具志川城跡	久米島町	久米島町教育委員会	発掘調査 資料整理	2,312	国80、県2.5、市17.5
28	安波茶樋川	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査	3,009	国80、市20

(9) 事業者(原因者)負担による埋蔵文化財発掘調査一覧

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
1	普天間古集落遺跡ほか1遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	海軍病院建設	発掘調査 資料整理	123,400	沖縄防衛局
2	宮国元島上方古墓群	宮古島市	県立埋蔵文化財センター	道路工事	発掘調査 資料整理	17,596	沖縄県

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
3	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査 資料整理	18,444	国土交通省
4	崎山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	14,142	国土交通省
5	真嘉比・古島古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	土地区画整理	発掘調査 資料整理	21,268	那覇市
6	羽佐間原古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査 資料整理	7,021	国土交通省
7	城岳古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査 資料整理	1,955	国土交通省
8	湧田村跡	那覇市	那覇市教育委員会	市庁舎建設	資料整理	9,968	那覇市
9	小祿村跡	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	11,274	国土交通省
10	首里金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	道路建設	発掘調査	15,900	国土交通省
11	首里平良橋周辺遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	河川	発掘調査	7,858	国土交通省
12	東村跡	那覇市	那覇市教育委員会	住宅	発掘調査	3,142	事業者
13	鏡水箕隅原古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	道路	資料整理	620	内閣府
14	普天間下原第二遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	米軍施設建設	発掘調査 資料整理	131,102	沖縄防衛局
15	前田・経塚近世墓群東 前田原地区他2地点	浦添市	浦添市教育委員会	土地区画整理	発掘調査 資料整理	18,254	浦添市
16	城間東空寿近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	道路	発掘調査	46,302	沖縄県
17	護岸の銃座	うるま市	うるま市教育委員会	護岸改修工事	発掘調査	2,317	沖縄県
18	ミスズマ遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	発掘調査 資料整理	14,454	沖縄県
19	地盛南の岩陰墓・地盛 南の壕跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	発掘調査	360	沖縄県
20	村越陣地壕跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	道路建設	発掘調査	274	沖縄県
21	友利元島遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ホテル建設	発掘調査 資料整理	1,800	事業者
22	尻波第二遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	印刷工場建設	発掘調査	240	事業者
23	尻波第二遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	住宅建設	発掘調査	290	事業者
24	長南岩陰墓・長南避難 壕群	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	発掘調査	630	沖縄県
25	島添大里グスク南遺跡	南城市	南城市教育委員会	公園関連	資料整理	4,131	国土交通省
26	赤間の炭焼窯他1遺跡	恩納村	恩納村教育委員会	道路建設	資料整理	1,891	内閣府
27	伊礼原遺跡(国指定 外)	北谷町	北谷町教育委員会	土地区画整理	発掘調査	16,653	事業者
28	伊礼原D遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	土地区画整理	資料整理	52,448	事業者
29	テミグラグスク	八重瀬町	八重瀬町教育委員会	公園造成	資料整理	3,000	八重瀬町
30	志多伯遺跡	八重瀬町	八重瀬町教育委員会	道路	発掘調査 資料整理	98	八重瀬町

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
31	ンブフル遺跡	竹富町	竹富町教育委員会	住宅	資料整理	2,434	竹富町
32	首里城跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	史跡整備(国営公園整備)	発掘調査 資料整理	56,170	内閣府
33	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	県営首里城公園整備	発掘調査 資料整理	40,140	沖縄県

(10) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修への参加者一覧
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目 No.	研修名	期間	参加者	所属
1	文化財担当者専門研修「庭園・自然名勝等保存活用基礎課程」	平成24年6月6日～ 6月12日	羽方 誠	県立埋蔵文化財センター
2	文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	平成24年12月14日～ 12月21日	伊藤 圭	宜野湾市教育委員会
3	文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	平成24年12月14日～ 12月21日	瑞慶覧 長順	浦添市教育委員会
4	文化財担当者専門研修「文化的景観調査計画課程」	平成25年1月21日～ 1月25日	玉城 靖	今帰仁村教育委員会

(11) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目 No.	出願地	出願番号	鉱種名	出願種類	回答内容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	糸満市	24 沖経出採般第1号	石灰石	採掘	上座ヌ殿遺跡ほか	地域を定めず指定された天然記念物
2	本部町	23 沖経出採般第14号	石灰石	採掘	知場塚原遺跡ほか	地域を定めず指定された天然記念物
3	宮古島市	22 沖径出採第5号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
4	伊是名村	48 沖径出採第90号	石灰石	採掘	伊是名ウフジカ遺跡ほか	地域を定めず指定された天然記念物
5	南城市	23 沖径出採第5号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
6	石垣市	23 沖径出採第4号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
7	北大東村	24 沖経出採般第2号	石灰石、ドロマイト	採掘	掲揚台の監視哨跡ほか	地域を定めず指定された天然記念物
8	石垣市	沖縄県採掘権登録第201号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
9	宜野湾市	18 沖経出使第2号	石油・可燃性天然ガス	試掘	野嵩タマタ原遺跡ほか	地域を定めず指定された天然記念物

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石

（2）円覚寺跡整備委員会及び整備指導

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| ①平成24年11月18日（円覚寺跡現場・首里城公園管理センター） | 第1回 整備委員会 |
| ②平成25年 2月12日（円覚寺跡現場） | 整備指導 |
| ③平成25年 3月15日（円覚寺跡現場・首里城公園管理センター） | 第2回 整備委員会 |

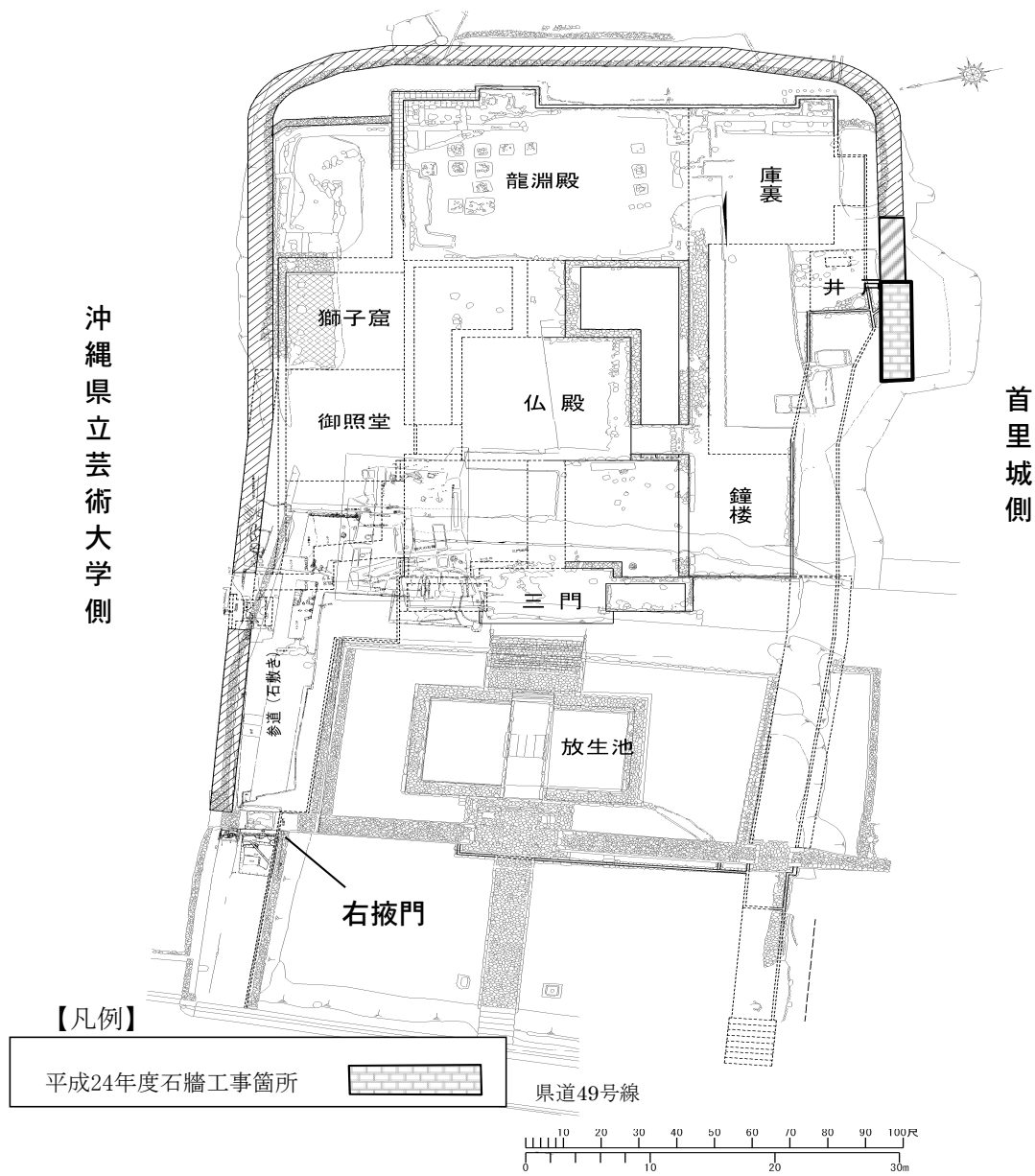
当該年度は戦前に写された円覚寺の写真を収集、解析を行い、整備委員会資料に反映させた。別図に示した石牆範囲の高さ、勾配、規模等の検討を行ったが、天端形状について整備委員会での意見が

（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	28,822.50	委託料費 5,617.40 ・設計 4,649.40 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料 (設計・管理)
平成22年度	石牆 (土留めの石積み) 修復工事 (44.5㎡)	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730,668 ・地耐力調査 4,730,668
平成24年度	石牆 (土留めの石積み) 修復工事 (17.5㎡)	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00

平成24年度 円覚寺跡保存整備工事箇所



7. 新たに国の指定になった文化財

(1) 記念物の指定

① 中頭方西海道及び普天満参詣道

種 別：史跡

所 在 地：沖縄県浦添市安波茶3丁目、経塚1丁目、当山1丁目他

所 有 者：浦添市他

指 定 基 準：史跡の部 6 (交通・通信施設、治山・治水施設、生産地施設その他経済・生産活動に関する遺跡)

指定をする理由： 中頭方西海道及び普天満参詣道は、沖縄県浦添市の安波茶および当山に所在する、琉球王府により整備された街道の遺跡である。

沖縄では、15世紀後半以降の第二尚氏時代に首里を中心とした宿道と呼ばれる幹線道路網の整備が行われ、王命の伝達や役人の往来、租税そのほかの物資の運搬などの機能を果たした。このうち、首里を起点に沖縄本島を西側に北上する経路を西海道と呼び、首里から浦添、北谷、読谷山の間切を通る道筋を中頭方西海道、以北の恩納、名護、今帰仁、国頭の間切に至る道を国頭方西海道と称している。後者については、恩納村所在の街道と関連施設を平成16年に史跡に指定してその保護を図っている。

今回、新たに指定を行うのは、中頭方西海道のうち、浦添市内に残る安波茶橋一带と、中頭方西海道から分岐して宜野湾間切に至る普天満参詣道の当山の石畳道である。「浦添城の前の碑」等によれば、首里・浦添間の道筋は、尚寧王の1597年に石敷道として整備され、幅員も9尺に拡張され、安波茶橋についても木橋から石橋に改修されたと考えられている。安波茶橋は、谷部を流れる小湾川に架かる南北2基の石造アーチ橋であり、その前後に石畳道が連続する。平成7～18年度に修復および整備事業が行われ、その際実施された発掘調査によれば、石畳道はほぼ琉球石灰岩を用いた幅3.1mの規模であった。北橋は単芯の円弧で3個の幅の長い琉球石灰岩を連結する構造であり、18～19世紀ころに改修された痕跡が残る。南橋は沖縄戦で破壊されたが、単芯の円弧で幅の狭い7個の琉球石灰岩を連結した、橋中央が駝背状に盛り上がる構造であることが判明し、復元整備されている。また、北橋の西方には、国王が赤い皿で水を飲んだという伝承をもつ赤皿ガー（湧水）が現存する。

普天満参詣道は、浦添間切番所の北側で東に分岐して宜野湾間切に向かう道筋である。尚賢王の1644年以降、国王の普天満宮参詣が王城の公事となったことや、1671年に宜野湾間切が新設されたことにより、参詣道として、さらに宿道として整備された。今は失われているが、かつては沿道に宜野湾並松と呼ばれた松並木が連続していた。このうち当山の石畳道は、西海道との分岐点から東に約500mの地点にあり、牧港川に架かる当山橋を挟んで、幅約3mの石畳が良好に残存する。この地点は勾配が急なため「馬転ばし」または「馬ドゥケーラシ」と呼ばれる難所であった。平成8年および同11～13年度に修復および整備工事が行われている。

このように、中頭方西海道及び普天満参詣道は、ともに琉球王府は幹線道路として整備した街道であり、現在も石畳道や橋梁遺構等が良好に残存し、わが国の交通・土木の歴史を知る上で貴重なことから、整備事業が完了した部分を含む約397m分（中頭方西海道約187m、普天満参詣道約210m）を史跡に指定して保護を図るものである【月刊文化財 588号 平成24年9月1日発行より】。

②喜屋武海岸及び荒崎海岸

- 種 別：名勝及び天然記念物
所 在 地：沖縄県糸満市字喜屋武具志川原、大石原、字東里下兼本原、荒崎原
所 有 者：糸満市
指 定 基 準：名勝の部 8（海浜）
天然記念物の部 2（植物）
3 特殊岩石地植物群
5 海岸及び砂地植物群落の代表的なもの
5（地質鉱物）
9 風化及び浸食に関する現象

指定をする理由： 沖縄本島最南端の喜屋武および荒崎の海岸には、琉球石灰岩からなる海岸段丘が発達し、岩石の節理と波の浸食により形成された独特の海食地形がみられる。

特に、海岸段丘の端部に比高約 30m もの海食崖が連続する喜屋武海岸では、波の浸食によって形成された窪みの天井をなす底部が崩落し、直径 5～10m もの岩塊が波打ち際に多数散在している。それらの中には、「クガニ岩（黄金岩）」と名づけられ、「カタハラグスク」の異名をもつ一辺約 30m もの大岩があり、倭寇が岩体の凹部に財宝を隠したとの逸話が伝えられている。

荒崎海岸にも大きな離岩が残されており、地域の人びとが御嶽として信仰している。琉球王国の正史である『球陽』には、1832 年 9 月 10 日に台風が来襲し、荒崎海岸に三つの岩塊が打ち上げられたと記載されている。現存する離岩は、大きさおよび海岸からの距離が『球陽』に記す三つの岩塊の一つとほぼ一致し、「笠かぶり」を意味する「カサカンジャー」の呼び名のもとに広く知られている。

両海岸には、地殻変動による隆起および海水準変動の複合作用による海岸段丘が発達し、数十万年前以降に形成された琉球石灰岩からなる海岸地形の典型的な特質がみられる。特に喜屋武海岸では浸食により後退を続ける海食崖の形成の過程を良好に示している。また、サンゴ礁の発達が悪い東部の荒崎海岸では、海食崖の前面の水深が大きいことから、「サーフベンチ（波食棚）」と呼ばれる海食地形がみられる。海食崖の上の琉球石灰岩の表面には、海波の直接的な浸食ではなく、飛沫または雨水によって形成された溶食凹地のほか、琉球石灰岩の巨岩も観察もできる。このように、喜屋武海岸および荒崎海岸には、南西諸島の琉球石灰岩からなる海岸地形のさまざまな特質が典型的に発達している。

また、海岸段丘は面積も広く、安定した植生が発達している。海食岩の比高は大きく、波浪の影響を受ける海食崖近くでは顕著な植生を認めないが、飛沫帯にはイソフサギ群落、飛沫の影響が少なくなる上部にはソナレムグラ・コウライシバ群落が成立する。さらに安定した部分では、ミツバノコマツナギ（ナハエボシグサ）、ハナカモノハンが優占する草本および矮性低木の群落が開示し、その背後には、段丘面を広く覆うようにクサトバラを中心とする低木群落が広がり、さらに樹高の高いオオハマボウおよびアダンの低木林へと連続する。このように、飛沫帯植生から低木林に至るまで、広い面積にわたって植生の帯状分布が発達し、岩礁海岸植生としての特徴を良好に示している。それは、第 2 次世界大戦後に地域の人びとが植生の回復をめざ

して地道に続けてきた努力の賜物である。

以上のように、沖縄本島最南端にあたる喜屋武海岸及び荒崎海岸は、多くの伝承に彩られた景勝地として広く知られ、現在もなお地域の人びとにとって精神的な重要性をもつ。琉球石灰岩からなる海岸段丘およびサーフベンチの海食地形、海波の影響の程度による植生の帯状分布など、独特の地質・植生が類いまれなる海浜の風致景観を形成している。その観賞上の価値および学術上の価値はともに高く、名勝及び天然記念物に指定して保護を図ろうとするものである【月刊文化財 588号 平成24年9月1日発行より】。

官 報 告 示：平成24年9月19日付け文部科学省告示第147号

③八重干瀬

種 別：名勝及び天然記念物
所 在 地：沖縄県宮古島市平良字池間安段嶺 500 番地 2 地先
占 有 者：海上保安庁他
指 定 基 準：名勝の部 8 (海浜)
天然記念物の部 3 (地質鉱物)
1 化石の産出状況
4 生物の働きによる地質現象
9 風化及び侵蝕に関する現象

指定をする理由： 沖縄県の宮古島の北端に接する池間島のさらに約5kmから約22km北方の海域には、東西約6.5km、南北17kmにわたって広大なサンゴ礁群が展開し、「八重干瀬」と呼ばれている。

春から夏にかけての大潮の時期には海面上に高さ約1mにも及ぶ巨大な姿を表し、その面積は宮古島の約3分の1にも達する。八つの干瀬のうちおもなものには名前が付けられ、各干瀬の随所には頭を意味する「カナマラ」、胃を意味する「イフ」など、人体の各部分になぞらえて命名されたものがあるほか、ブダイを意味する「イラウツ」、ノミを意味する「フガウサ」、シマハギを意味する「ニニムヤ」、サザエを意味する「ンナ」など、動物にちなんで名づけられたものもある。また、1年で潮差が最大となる旧暦3月3日には、海中から姿を現したサンゴ礁に女性が下り立ち、海水で身を清める「サニツ」と呼ぶ厄払いの行事が行われている。このように、八重干瀬は宮古島に固有の伝承および生活・文化との深い繋がりのもとに親しまれてきたサンゴ礁の海浜景観であり、その風致景観上の価値は高い。

また、八重干瀬のサンゴ礁は、最大の干瀬である「ドウ」を中心に南北に延び、これと並行して2列から3列に延びる卓状のサンゴ礁および浅瀬・暗礁などからなる。それらは、宮古島の地質構造の伸びの方向と整合性を示すことから、八重干瀬の下位に宮古島本島と同様の地質の存在が示唆され、最終氷期には陸化していた可能性が高い。卓状のサンゴ礁上には、礁地(ラグーン)、過去の陸化時に形成されたものとみられる大小のドリーネなど、サンゴ礁に伴うさまざまな地形がみられる。礁縁(リーフエッジ)には現生サンゴが生育するほか、卓状のサンゴ礁上には台風または津波に起因するものと考えられる直径数mもの大小のサンゴ岩塊が錯乱している。これらは琉球列島の海岸を特徴づけるサンゴ礁の一つであるとともに、わが国最大の卓状のサンゴ礁群としても重要であり、その学術上の価値は高い。

以上のように、八重干瀬は、琉球列島の伝承および生活・文化と関係するサンゴ礁の海域として観賞上の価値は高く、琉球列島の海岸を特徴づけるサ

ンゴ礁の中でも、わが国最大の卓状のサンゴ礁群として学術上の価値も高い。よって、名勝及び天然記念物に指定し保護を図ろうとするものである【月刊文化財 593号 平成25年2月1日発行より】。

官 報 告 示：平成25年3月27日付け文部科学省告示第41号

④^{なごし かようそう しゅうきよく}名護市嘉陽層の褶曲

種 別：天然記念物

所 在 地：名護市字天仁屋前原825番22、同字天仁屋後原865番1のうち実測477,244.15 m²、同字天仁屋後原865番1地先のうち実測374,733.23 m²

所 有 者：名護市他

指 定 基 準：天然記念物の部 3 (地質鉱物)
3 地層の褶曲及び衝上
2 地層の整合及び不整合
1 岩石、鉱物及び化石の産出状況

指定をする理由： 名護市の東海岸には嘉陽層と呼ばれる砂岩と泥岩からなる地層が分布し、海岸の断崖にはこの地層が露出している。嘉陽層は3000～4000万年前の海底堆積物を主体とする付加体であり、なかでも名護市天仁屋からバン崎で観察できる嘉陽層には、生痕化石と呼ばれる海底に生息する生物が這い回った跡の化石や地殻変動の証拠である地層の褶曲や逆転、断層を観察することができるほか、褶曲についても、バン崎では波長の短いくしゃくしゃに折れ曲がった褶曲、天仁屋からバン崎の中間地点付近には崖いっぱい到大規模な褶曲を観察することができる。

以上のように、名護市嘉陽層の褶曲は数多くの地学現象を狭い範囲で観察できる貴重なフィールドであるだけでなく、沖縄島の成り立ちを考え、地球の営みを実感できる場所です。以上のことから天然記念物に指定し、その保護を図るものである。

官 報 告 示：平成24年9月19日付け文部科学省告示第148号

⑤^{いしがきじまひがしかいがん つなみいしぐん}石垣島東海岸の津波石群

種 別：天然記念物

所 在 地：石垣市字大浜下屋敷地179番地6 外5筆等

所 有 者：石垣市他

指 定 基 準：天然記念物の部 3 (地質鉱物)
5 地震断層など地塊運動に関する現象

指定をする理由： 1771年4月24日に発生した明和大津波は、最大30mもの遡上高を記録し、1万2000名もの犠牲者を出す大災害となつたとされており、これは津波の遡上高に着目すれば、2011年東北地方太平洋沖地震津波、1896年明治三陸地震津波に次ぐ規模に相当する。

明和大津波による被害の詳細は、『大波之時各村之形行書』（おおなみのときかくむらのなりゆきしょ）に具体的に記述されており、地震の後の海水の引く様子や津波で移動した岩塊の移動距離などが詳細に記述されている。

今回指定された『石垣島東海岸の津波石群』は、石垣島の東側にある津波によって移動したとされる4つの巨岩の総称として用いられており、それぞれ「津波大石（つなみうふいし）」、「高こるせ石（たかこるせいし）」、「あまたりや潮荒（あまたりやすうあれ）」、「安良大かね（やすらうふかね）」と呼ばれている。

これらはいずれも歴史的な裏付けや科学的な検証の結果、津波に由来することが実証されているものであり、「津波大石」については、表面に付着しているサンゴの年代測定の結果から約 2000 年前の先島大津波によって打ち上げられたものであると推定され、残りの 3 つが 1771 年に起きた明和の大津波に由来するものであることが明らかにされている。

これら巨岩の大きさは、最も大きな「津波大石」で横幅約 12m、推定重量約 1000 トンに達するほか、その他 3 つについても横幅約 7m の大きさであり、津波の威力を想像するに十分な迫力を有している。

これら巨岩の存在は、過去の大津波の規模を具体的に示すものであり、地震断層など地塊運動に関する現象を示すものとして学術上重要であることから、指定しその保護を図るものである。

官 報 告 示：平成 25 年 3 月 27 日付け文部科学省告示第 42 号

(2) 記念物の追加指定

①今帰仁城跡 附 シイナ城跡

種 別：史跡

所 在 地：沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊他

所 有 者：今帰仁村他

指 定 基 準：史跡の部 2（都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡）

指定をする理由：今帰仁城跡は沖縄本島北部、東シナ海を望む本部半島北東部の標高 90～100 m の丘陵上に所在する城跡である。この城は沖縄の三山時代における北山地域の王の居城で、13 世紀後半に築城され、慶長 14 年（1609）の薩摩侵攻によって廃城になったとされる。縄張は複雑で、主郭を中心に大小 10 箇所の郭からなり、石垣の総延長は約 1.5 km に達し、高さ 3～8 m で曲線的に積み上げる琉球独自の技術をみることができる。城の規模、縄張の複雑さ、良好に保存された遺構など沖縄屈指の城跡として昭和 47 年、史跡に指定された。その後、城跡周辺の調査により、北側の尾根上に、城に至る道路、城に関連する集落、石積遺構の存在が明らかとなり、これらは城と一体の遺構群であることから、平成 21 年に追加指定された。

この今帰仁城跡から南東 6 km のところに、シイナ城跡と呼ばれる標高 93m の丘陵に所在する城跡がある。この城は、13 世紀後半内という短期間のうちに廃絶したとみなされ、沖縄における城の出現期の在り方を知ることができる点で重要であるとともに、北山地域において今帰仁城跡とかわりがあったと考えられ、今帰仁城跡の成立から展開過程を知る上でも重要であることから、平成 22 年、追加指定された【月刊文化財 588 号 平成 24 年 9 月 1 日発行より】。

官 報 告 示：平成 24 年 9 月 19 日付け文部科学省告示第 51 号

8. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

①事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

②事業内容

1)防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災関係機器の保守点検等

2)小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3)名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③事業主体

沖縄県

④事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名称	市町村	所有者	平成24年度	合計	備考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	352	20,593	(昭55～平24)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	480	17,385	(昭54～平24)
	喜友名泉	宜野湾市	知念清栄他	117	1,756	(平5～平24)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	130	3,138	(平15～平24)
	仲村渠樋川	南城市	仲村栄雄	156	1,254	(平17～平24)
合計				1,235	44,126	

9. 文化財愛護事業

(1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年56点(10校)、小学校3・4学年72点(22校)、小学校5・6学年74点(22校)、中学校116点(21校)、高等学校33点(9校)、合計351点(67校)の応募があった。

審査会:平成24年10月10日(水)14時～17時30分 県立武道館 第二錬成道場

審査員:仲間吉信(県立学校教育課指導主事)

渡久山英雅(総務課主任指導主事)

仲里安広(県立博物館・美術館 美術館班 主任学芸員)

大城仁美(県立博物館・美術館 美術館班 主任学芸員)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月6日(火)15時より、県庁舎4階講堂で行い、11月5日(月)～11月9日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	有我洗乃(宜野湾小)	猪谷朋樹(カリック小)	与那嶺天麻(西原小)
優秀賞	神農侑希(カリック小) 根原富也(カリック小)	宮國美佳(カリック小) 山内優梨愛(宮島小)	志喜屋翔伍(中原小) 納山優梨(中原小)
佳作	神農幸希(カリック小) 田原陽和(松田小) 藤井可菜美(竹富小) 南慎之輔(与那国小)	花城さくら(カリック小) 宮國美嬉(カリック小) 長浜真太(山田小) 石原麻理奈(沢岬小)	島袋碧(カリック小) 納山純菜(中原小) 成海綾香(普天間第二小) 豊見城玄聖(多良間小)
入選	8名	9名	9名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	志喜屋悠乃(与勝緑が丘中)	金城みゆり(浦添高校)
優秀賞	新田有佳子(琉大附属中) 當間かなえ(神森中)	田中里歩(浦添工業高校) 比嘉健人(那覇高校)
佳作	伊集くりあ(鏡ヶ丘特支中学部) 名嘉村彩花(宜野湾中) 坂井夢翔(港川中) 比嘉まりん(神森中) 呉屋大樹(首里中)	大塚もも(島尻特支高等部) 島袋綾介(浦添工業高校) 新里麗(開邦高校)
入選	9名	5名

(2)平成24年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成23年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生1・2年の部 最優秀作品「パーントゥー！」〔(伊良部時将さん 宮古島市立宮島小学校1年(受賞当時))〕、並びに、高校生部の最優秀作品「円覚寺跡」〔新垣ナオさん 県立開邦高等学校3年(受賞当時)〕を原画にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

10. 世界遺産・無形文化遺産登録関連事業

(1) 世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画策定事業

①事業の概要

平成23年7月に文化庁を經由してユネスコ世界遺産センターに提出済みである「世界遺産の保存状態等に関する定期報告」の作成に併せ、平成23年度及び平成24年度の二カ年事業として、「包括的保存管理計画」の策定事業を実施した。包括的保存管理計画とは、世界遺産としての価値を保ち続けるために、9つの資産を保存管理するための計画で、緩衝地帯における土地利用規制等との具体的な連携方法、地域住民生活や観光との調和を主目的とする。本事業は二カ年間に渡る策定事業で、平成24年度は県内外の有識者を検討委員に委嘱し、また文化庁主任調査官及び世界遺産関連市村の文化財・観光・都市計画担当者をオブザーバーとして迎え、2回の検討委員会を開催した。平成25年2月の最終検討委員会を経て、同年3月には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画を策定した。

②世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画策定委員会

ア) 平成24年7月25日（南部合同庁舎） 第1回検討委員会

イ) 平成25年2月15日（南部合同庁舎） 第2回検討委員会

平成24年度は包括的保存管理計画の内容、特定の個別事項の内容、包括的保存管理の体制、アクションプランについて検討した。

③世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画策定事業の事業費並びに検討内容

年度	委員会	検討議題	事業費
平成 24 年度	第1回	①包括的保存管理計画の内容の検討 ②特定の個別事項の検討	総事業費： 16,166千円
	第2回	①包括的保存管理の体制の検討 ②包括的保存管理計画の検討	平成24年度： 5,578千円